

第6次幸手市総合振興計画 後期基本計画

市民意識調査

結果報告書

令和4年 11月

幸手市

目次

第1章 調査概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査方法・回収状況等.....	2
3 アンケート調査の分析にあたっての注意事項.....	2
第2章 調査結果	4
1 回答者の属性.....	5
2 幸手市の住みやすさ・定住意向について.....	8
3 市民との協働によるまちづくりについて.....	10
4 暮らしの安全・安心について.....	13
5 行財政運営について.....	15
6 市政情報の発信や収集について.....	17
7 幸手市の施策について.....	21
8 自由記述欄.....	33
9 調査票.....	34

第1章 調査概要

1 調査の目的

本調査は、「第6次幸手市総合振興計画前期基本計画」が令和5年度までとなっていることから、令和6年度から令和10年度までを計画期間とする後期基本計画を策定するにあたり、幸手市にお住まいの18歳以上の市民の方を対象にアンケート調査を実施し、前期基本計画の進捗状況や、市民の皆様が今後の市政運営について重要とお考えになっていることは何かを把握して計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査方法・回収状況等

- ・調査対象者: 18歳以上の幸手市民 2,000人を対象
- ・調査方法: 調査票郵送による調査・WEB アンケート調査
- ・調査期間: 令和4年(2022年)6月8日～6月30日
- ・回収数・回収率: 751票(調査票: 628票 WEB: 123票)・37.6%

3 アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・集計した数値(%)は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっています。したがって、単一回答(1つの選択肢のみを回答する設問)の合計は、100.0%とならない場合があります。
- ・グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・表中の前回%は、平成30年に実施した市民意識調査結果の比率を示しています。
- ・回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があります。
- ・有効回答者数は各設問に(N=●)で表してあります。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票はカウントしていません。

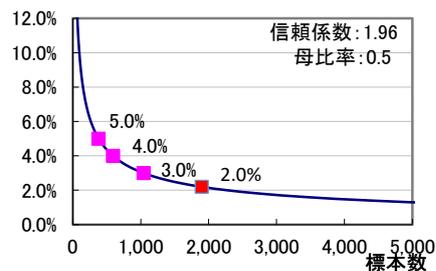
アンケート票数と信頼度

アンケート票数と誤差との関係は、当然アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が多いと誤差は少なくなります。しかしその関係は一定ではなく、富士山の稜線のカーブのような関係にあります。

つまり、票数が少ない時は票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなります。統計学的には、この「一定の数」は、標本誤差（許容誤差）3%程度とされています。

また一般的には5%以内に納めることが社会調査上望ましいとされているため、それを下記の計算式で逆算すると概ね400～1,000票程度であることが算出されています。つまり、有効回答票の回収数がこの程度あれば、住民意向の把握として十分納得できる数字になると言えます。

許容誤差(%)【誤差と票数の関係】



今回のアンケートの結果を基に計算すると、アンケート時の幸手市の18歳以上の人口43,631人（住民基本台帳令和4年7月1日現在）に対して、アンケートの回収数が381票以上あれば、社会調査上望ましいとされている誤差5%以内であることとなります。

今回の市民アンケートの回収数は751票であるため、これを満たしており、住民意向の把握として十分納得できる値であると言えます。

また、回収数751票から誤差を計算すると、今回の市民アンケートの誤差は±3.55%であるため、ある事象と別の事象との差が±3.55%以内であれば誤差の範囲内であるため、大小等の比較対象にはなりません。

《参考》サンプル数（アンケートの有効回答票数）と標本誤差（＝許容誤差）との関係式

標本サイズの計算式[標本の大きさを求める公式：有限母集団]

$$\text{必要サンプル数 } n \geq \frac{N}{\left(\frac{(N-1) \times F^2}{P \times (1-P) \times K^2} \right) + 1}$$

■許容誤差=0.05の場合の必要回収数

母集団数： N = 43,631

※意向調査の対象となった母集団

例えば18歳以上の市民であれば、調査時点の18歳以上の人口

信頼性係数： K = 1.96 (95%)

※通常95%に設定。同じ調査を100回やった場合95回は同一結果となる確率。

K値は標準正規分布により算出。

95%のときK値は1.96、90%のとき1.65、99%のとき2.58となる。

許容誤差： F = 0.05

※通常～5%に設定。例えば賛成65%との結果が出た場合60～70%の範囲で考える。

医薬品などでは±3～1%の場合がある。

母比率： P = 0.5

※最大値として50%に設定。

例えば賛成：反対=50%：50%となるような調査の時には、5%：95%という調査のときよりも多くのサンプルが必要となる。母比率推定値50%で必要サンプル数の上限値が計算される

必要回収数： n ≥ 381

誤差を求める計算式[上記計算式の逆算]

$$\text{誤差 } \varepsilon = K \times \left(\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \left(\frac{P \times (1-P)}{n} \right) \right)^{0.5}$$

■回収数=751票の場合の誤差

回収数： n = 751
 母集団数： N = 43,631
 信頼性係数： K = 1.96 (95%)
 母比率： P = 0.5

誤差： ε = ±3.55%

第2章 調査結果

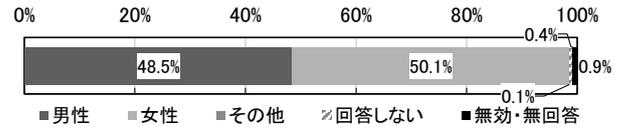
1 回答者の属性

問1 あなたの性別は、次のどれに該当しますか。[単一回答]

・性別は、「男性」が48.5%、「女性」が50.1%と、「女性」の方が多くなっています。

		票数	今回%	前回%
1	男性	364	48.5%	44.3%
2	女性	376	50.1%	51.9%
3	その他	1	0.1%	—
4	回答しない	3	0.4%	—
	無効・無回答	7	0.9%	3.8%
	合計	751	100.0%	100.0%

N= 751

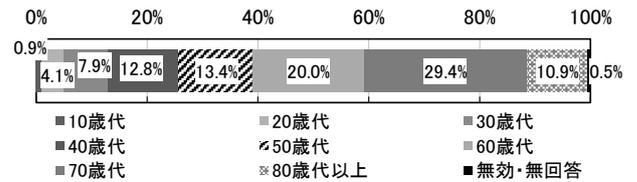


問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。(令和4年6月1日現在の年齢をお答えください。)[単一回答]

・年齢は、「70歳代」が29.4%と最も多く、次いで「60歳代」が20.0%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	10歳代	7	0.9%	2.0%
2	20歳代	31	4.1%	13.7%
3	30歳代	59	7.9%	22.4%
4	40歳代	96	12.8%	10.0%
5	50歳代	101	13.4%	9.3%
6	60歳代	150	20.0%	17.5%
7	70歳代	221	29.4%	16.2%
8	80歳代以上	82	10.9%	4.5%
	無効・無回答	4	0.5%	4.5%
	合計	751	100.0%	100.1%

N= 751

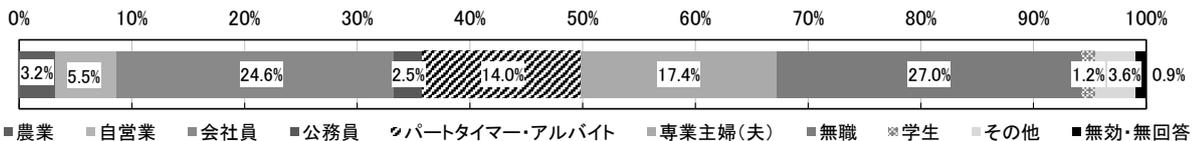


問3 あなたの就業形態は、次のどれに該当しますか。[単一回答]

・就業形態は、「無職」が27.0%と最も多く、次いで「会社員」が24.6%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	農業	24	3.2%	2.1%
2	自営業	41	5.5%	4.3%
3	会社員	185	24.6%	30.6%
4	公務員	19	2.5%	3.2%
5	パートタイマー・アルバイト	105	14.0%	15.5%
6	専業主婦(夫)	131	17.4%	17.1%
7	無職	203	27.0%	16.9%
8	学生	9	1.2%	5.6%
9	その他	27	3.6%	2.1%
	無効・無回答	7	0.9%	2.5%
	合計	751	100.0%	99.9%

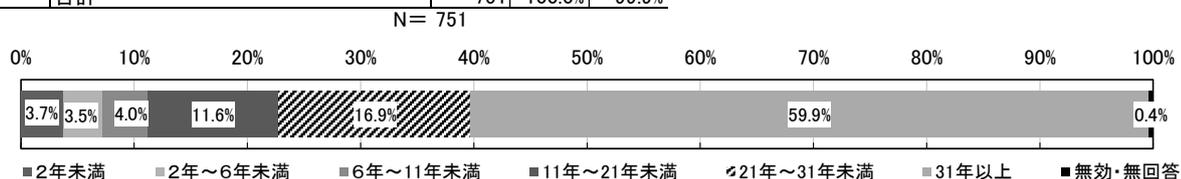
N= 751



問4 幸手市内に通算して何年お住まいですか。(幸手市外に住んでいた期間は除いて計算してください。)[単一回答]

・居住年数は、「31年以上」が59.9%と最も多く、次いで「21年～31年未満」が16.9%となっています。

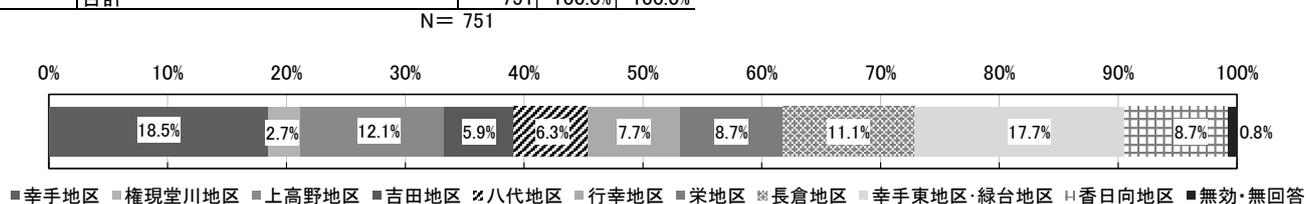
		票数	今回%	前回%
1	2年未満	28	3.7%	3.2%
2	2年～6年未満	26	3.5%	6.5%
3	6年～11年未満	30	4.0%	9.5%
4	11年～21年未満	87	11.6%	12.2%
5	21年～31年未満	127	16.9%	22.9%
6	31年以上	450	59.9%	43.2%
	無効・無回答	3	0.4%	2.4%
	合計	751	100.0%	99.9%



問5 お住まいの地区は、次のどれに該当しますか。(1つに○)[単一回答]

・居住地区は、「幸手地区」が18.5%と最も多く、次いで「幸手東地区・緑台地区」が17.7%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	幸手地区	139	18.5%	15.9%
2	権現堂川地区	20	2.7%	4.6%
3	上高野地区	91	12.1%	12.4%
4	吉田地区	44	5.9%	4.9%
5	八代地区	47	6.3%	5.0%
6	行幸地区	58	7.7%	5.3%
7	栄地区	65	8.7%	7.9%
8	長倉地区	83	11.1%	12.6%
9	幸手東地区・緑台地区	133	17.7%	20.6%
10	香日向地区	65	8.7%	8.5%
	無効・無回答	6	0.8%	2.3%
	合計	751	100.0%	100.0%



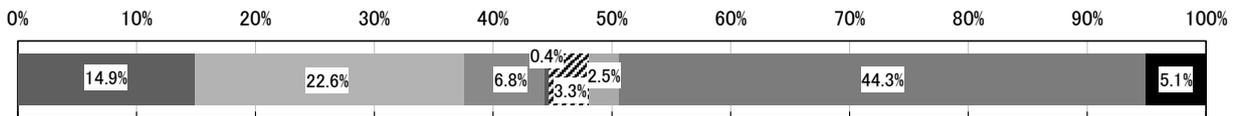
問6 通勤・通学先は、次のどれに該当しますか。(1つに○)[単一回答]

・通勤・通学先は、「通勤・通学はしていない」が44.3%、「埼玉県内(幸手市内を除く)」が22.6%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	幸手市内	112	14.9%	14.6%
2	埼玉県内(幸手市内を除く)	170	22.6%	25.1%
3	東京都内	51	6.8%	12.4%
4	千葉県内	3	0.4%	
5	茨城県内	25	3.3%	7.6%
6	東京都、埼玉県、千葉県、茨城県以外	19	2.5%	
7	通勤・通学はしていない	333	44.3%	34.2%
	無効・無回答	38	5.1%	6.0%
	合計	751	100.0%	99.9%

※前回東京都、埼玉県以外の県

N= 751



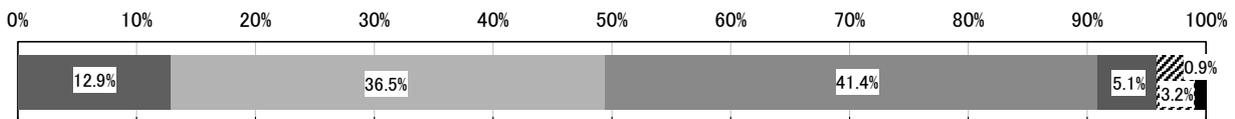
■幸手市内 ■埼玉県内(幸手市内を除く) ■東京都内 ■千葉県内 ■茨城県内 ■東京都、埼玉県、千葉県、茨城県以外 ■通勤・通学はしていない ■無効・無回答

問7 世帯構成は、次のどれに該当しますか。(1つに○)[単一回答]

・世帯構成は、「親と子(二世帯世帯)」が41.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ(一世帯世帯)」が36.5%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	ひとり暮らし(一人世帯)	97	12.9%	10.4%
2	夫婦のみ(一世帯世帯)	274	36.5%	22.2%
3	親と子(二世帯世帯)	311	41.4%	53.0%
4	親と子と孫(三世帯世帯)	38	5.1%	8.9%
5	その他	24	3.2%	3.5%
	無効・無回答	7	0.9%	2.0%
	合計	751	100.0%	100.0%

N= 751



■ひとり暮らし(一人世帯) ■夫婦のみ(一世帯世帯) ■親と子(二世帯世帯) ■親と子と孫(三世帯世帯) ■その他 ■無効・無回答

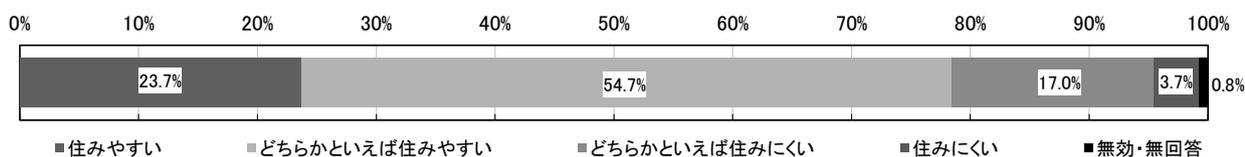
2 幸手市の住みやすさ・定住意向について

問8 幸手市は住みやすいと思いますか。(1つに○) [単一回答]

・幸手市の住みやすさについては、住みやすい(「住みやすい」23.7%、「どちらかといえば住みやすい」54.7%)が78.4%、住みにくい(「どちらかといえば住みにくい」17.0%、「住みにくい」3.7%)が20.7%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	住みやすい	178	23.7%	18.8%
2	どちらかといえば住みやすい	411	54.7%	50.3%
3	どちらかといえば住みにくい	128	17.0%	14.8%
4	住みにくい	28	3.7%	7.1%
	無効・無回答	6	0.8%	1.6%
	合計	751	100.0%	92.6%

N= 751 ※前回: 選択肢「わからない」あり

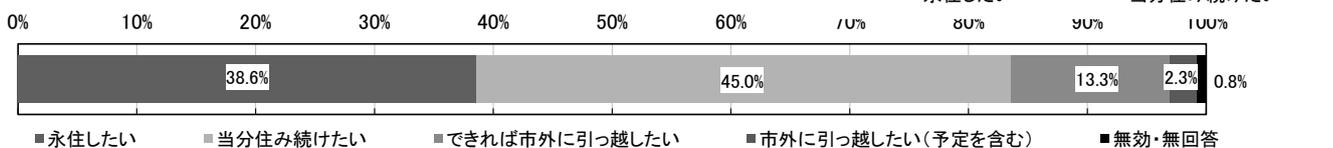


問9 今後も幸手市に住み続けたいと思いますか。(1つに○) [単一回答]

・今後も幸手市に住み続けたいと思うかについては、「当分住み続けたい」が45.0%と最も多く、次いで「永住したい」が38.6%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	永住したい	290	38.6%	32.0%
2	当分住み続けたい	338	45.0%	39.3%
3	できれば市外に引っ越したい	100	13.3%	11.2%
4	市外に引っ越したい(予定を含む)	17	2.3%	5.3%
	無効・無回答	6	0.8%	1.7%
	合計	751	100.0%	89.5%

N= 751 ※前回: 選択肢

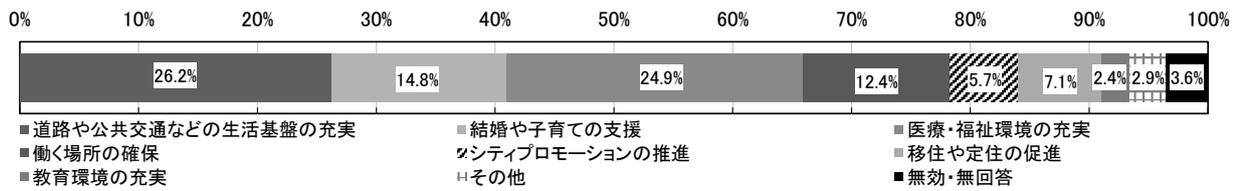


問10 人口減少を緩やかにし、活力あるまちづくりを推進するために幸手市が一番力を入れるべきことは、どんなことだと思いますか。(1つに○)[単一回答]

・活力あるまちづくりを推進するために幸手市が一番力を入れるべきことについては、「道路や公共交通などの生活基盤の充実」が26.2%と最も多く、次いで「医療・福祉環境の充実」が24.9%となっています。

		票数	今回%
1	道路や公共交通などの生活基盤の充実	197	26.2%
2	結婚や子育ての支援	111	14.8%
3	医療・福祉環境の充実	187	24.9%
4	働く場所の確保	93	12.4%
5	シティプロモーションの推進	43	5.7%
6	移住や定住の促進	53	7.1%
7	教育環境の充実	18	2.4%
8	その他	22	2.9%
	無効・無回答	27	3.6%
	合計	751	100.0%

N= 751



3 市民との協働によるまちづくりについて

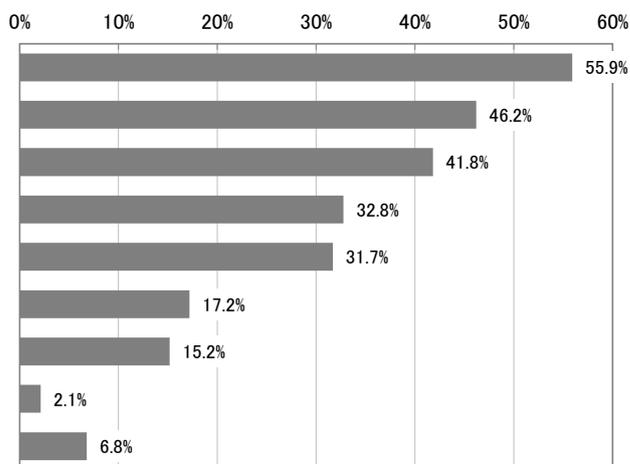
問11 協働により取り組むことが「重要だと思う取組」(問11-1)と「今後参加したい取組」(問11-2)は何ですか。次の中からあてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。[複数回答:3つまで]

・協働により取り組むことが「重要だと思う取組」は、「災害対策(防災体制の整備、被災者への支援等)」が55.9%と最も多く、次いで「地域福祉(高齢者や障がい者の見守り、支援等)」が46.2%となっています。

【問11-1 重要だと思う取組】

		票数	今回%	前回%
5	災害対策(防災体制の整備、被災者への支援等)	420	55.9%	39.2%
4	地域福祉(高齢者や障がい者の見守り、支援等)	347	46.2%	42.9%
3	環境保全(自然環境の保全、河川の浄化、リサイクル等)	314	41.8%	33.1%
6	地域安全(交通安全活動、防犯活動等)	246	32.8%	44.1%
1	地域コミュニティ(自治会活動の推進、地域行事の開催、助け合い等)	238	31.7%	36.8%
2	文化、芸術、スポーツ(活動団体の支援、催し物の開催等)	129	17.2%	19.4%
7	青少年健全育成(健全育成活動の推進等)	114	15.2%	15.9%
8	その他	16	2.1%	2.0%
	無効・無回答	51	6.8%	4.4%
	合計	1,875		

N= 751

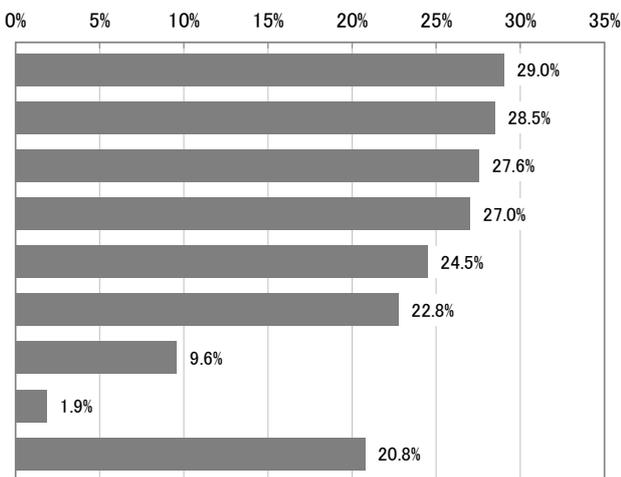


・「今後参加したい取組」は、「地域コミュニティ(自治会活動の推進、地域行事の開催、助け合い等)」が29.0%と最も多く、次いで「環境保全(自然環境の保全、河川の浄化、リサイクル等)」が28.5%となっています。

【問11-2 今後参加したい取組】

		票数	今回%
1	地域コミュニティ(自治会活動の推進、地域行事の開催、助け合い等)	218	29.0%
3	環境保全(自然環境の保全、河川の浄化、リサイクル等)	214	28.5%
2	文化、芸術、スポーツ(活動団体の支援、催し物の開催等)	207	27.6%
5	災害対策(防災体制の整備、被災者への支援等)	203	27.0%
4	地域福祉(高齢者や障がい者の見守り、支援等)	184	24.5%
6	地域安全(交通安全活動、防犯活動等)	171	22.8%
7	青少年健全育成(健全育成活動の推進等)	72	9.6%
8	その他	14	1.9%
	無効・無回答	156	20.8%
	合計	1,439	

N= 751

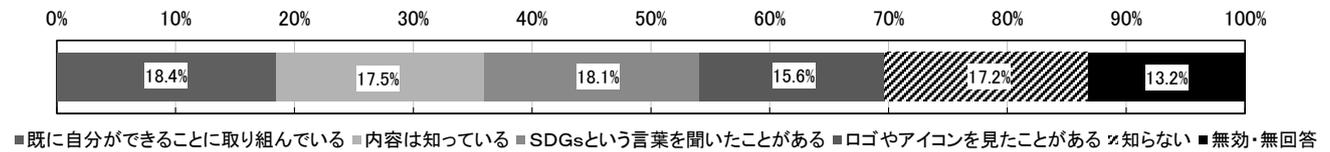


問12 あなたは世界共通目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」についてどの程度知っていますか。(1つに○)[単一回答]

・「持続可能な開発目標 (SDGs)」の認知度については、「既に自分ができることに取り組んでいる」が18.4%と最も多く、次いで「SDGsという言葉聞いたことがある」が18.1%となっています。

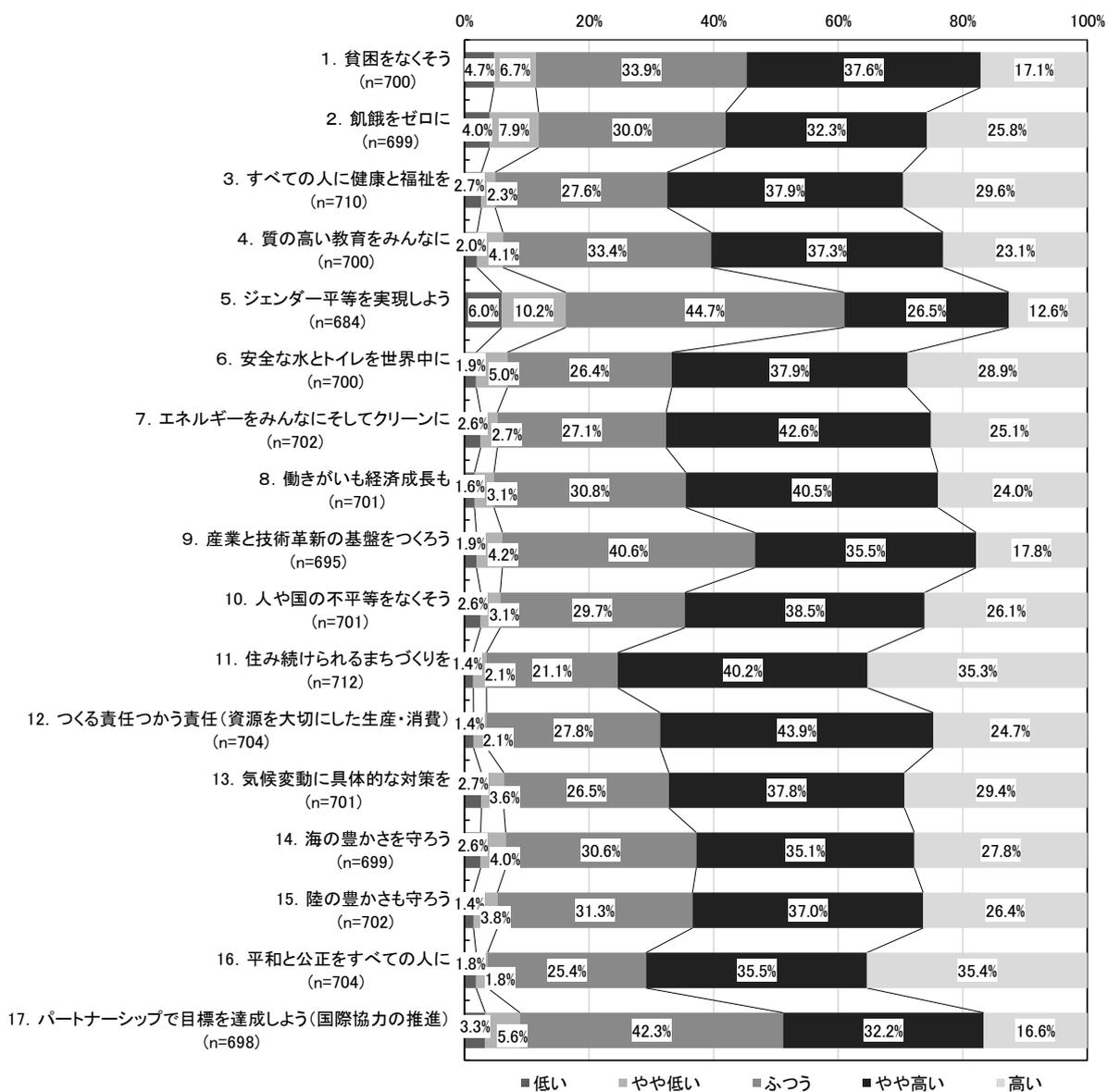
		票数	今回%
1	既に自分ができることに取り組んでいる	218	18.4%
2	内容は知っている	207	17.5%
3	SDGsという言葉聞いたことがある	214	18.1%
4	ロゴやアイコンを見たことがある	184	15.6%
5	知らない	203	17.2%
	無効・無回答	156	13.2%
	合計	1,182	100.0%

N = 751



問13 SDGsの17の目標についてあなたの関心はどれくらいありますか。
それぞれの目標の関心度について1~5のうちあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。[単一回答]

・SDGsの17の目標に対する関心度については、「高い」、「やや高い」が多い項目は「11. 住み続けられるまちづくりを」75.4%、次いで「16. 平和と公正をすべての人に」70.9%、「12. つくる責任つかう責任(資源を大切に生産・消費)」68.6%、「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」67.7%、「3. すべての人に健康と福祉を」67.5%となっています。

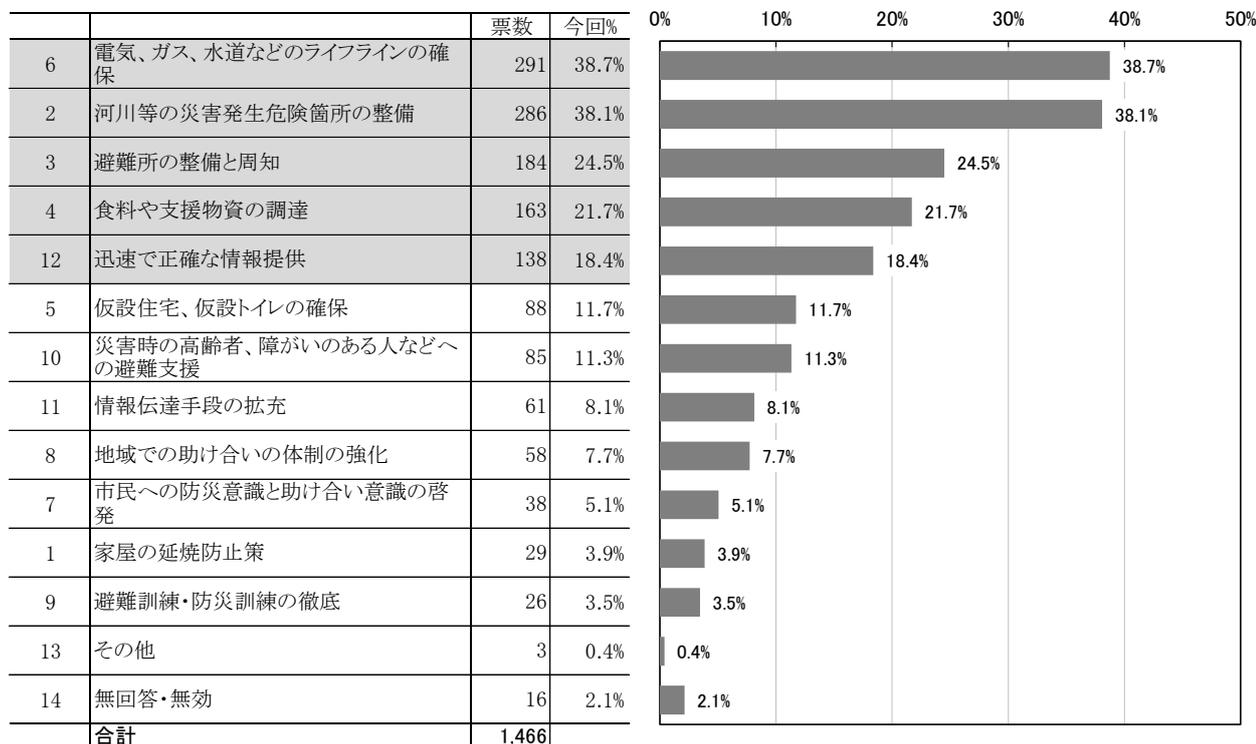


※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。

4 暮らしの安全・安心について

問14 大地震や水害などの災害に備えて、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。[複数回答:2つまで]

・大地震や水害などの災害に備えて、どのようなことに力を入れていく必要があると思うかについては、「電気、ガス、水道などのライフラインの確保」が38.7%と最も多く、次いで「河川等の災害発生危険箇所の整備」が38.1%、「避難所の整備と周知」が24.5%、「食料や支援物資の調達」が21.7%、「迅速で正確な情報提供」が18.4%となっています。



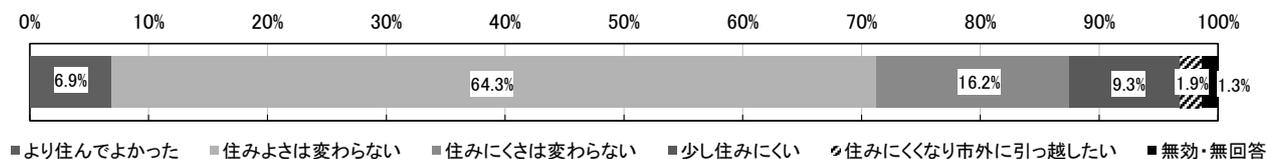
N= 751

問15 新型コロナウイルス感染症流行前(おおむね2020年2月以前)と比べて、あなたは現在の幸手市が「住みよいまち」だと思いますか。[単一回答]

・新型コロナウイルス感染症流行前と比べて、現在の幸手市が「住みよいまち」だと思うかについては、「住みよさは変わらない」が64.3%と最も多く、次いで「住みにくさは変わらない」が16.2%となっています。

		票数	今回%
1	より住んでよかった	52	6.9%
2	住みよさは変わらない	483	64.3%
3	住みにくさは変わらない	122	16.2%
4	少し住みにくい	70	9.3%
5	住みにくくなり市外に引っ越したい	14	1.9%
	無効・無回答	10	1.3%
	合計	751	100.0%

N= 751

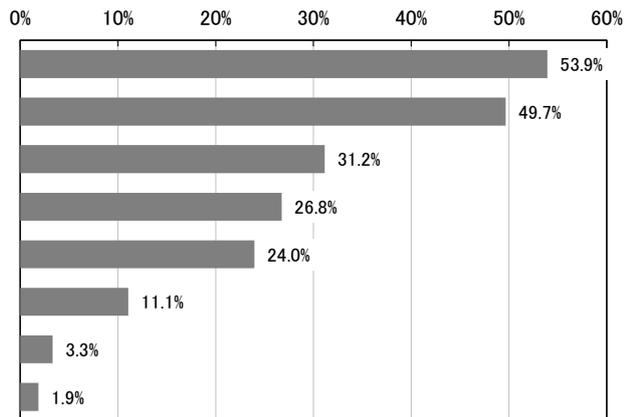


問16 ウィズ(with)コロナ社会の新しいライフスタイルにおいて、あなた自身が幸手市で暮らす上で、これまで以上に重視したい点は何ですか。[複数回答:3つまで]

・ウィズ(with)コロナ社会の新しいライフスタイルにおいて、自身が幸手市で暮らす上で、これまで以上に重視したい点については、「趣味・生きがいを充実させたい」が53.9%と最も多く、次いで「住環境を充実させたい」が49.7%となっています。

		票数	今回%
2	趣味・生きがいを充実させたい	405	53.9%
3	住環境を充実させたい	373	49.7%
4	豊かな自然環境を満喫したい	234	31.2%
5	地域の人とのコミュニケーションを深めたい	201	26.8%
1	ライフワーク・やりたい仕事を充実させたい	180	24.0%
6	地域のためになることにチャレンジしたい	83	11.1%
7	その他	25	3.3%
	無回答・無効	14	1.9%
	合計	1,515	

N= 751



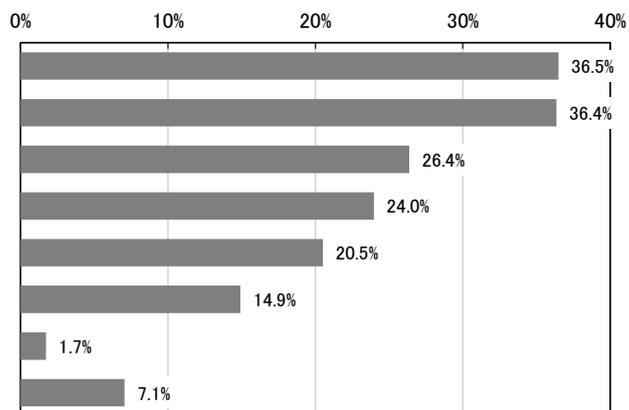
5 行財政運営について

問17 行財政運営の改善に向けて必要だと思うものは何ですか。【複数回答:2つまで】

・行財政運営の改善に向けて必要だと思うものについては、「事業の取捨選択を進め、事業の重点化を図る」が36.5%と最も多く、次いで「職員の質の向上を図る」が36.4%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	事業の取捨選択を進め、事業の重点化を図る	274	36.5%	30.4%
3	職員の質の向上を図る	273	36.4%	29.2%
5	インターネット等を活用して、どこでも各種の申請ができるようにする	198	26.4%	21.0%
4	民間事業者の活用を進める	180	24.0%	17.7%
2	既存の施設の統廃合を進める	154	20.5%	21.6%
6	行政への市民参画を推進する	112	14.9%	9.3%
7	その他	13	1.7%	1.6%
	無回答・無効	53	7.1%	7.0%
	合計	1,257		

N= 751



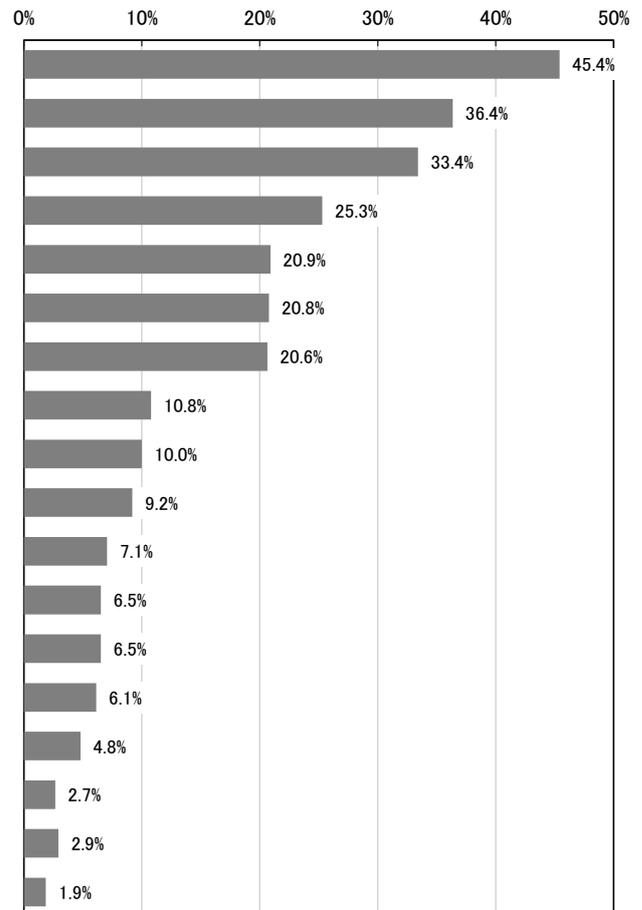
問18 今後、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。[複数回答:3つまで]

・今後、重点的に取り組むべきと思う施策については、「災害に強いまちづくり」が45.4%と最も多く、次いで「地域医療体制の充実」が36.4%、「高齢者福祉・介護予防事業の充実」が33.4%、「子育て支援体制の充実」が25.3%、「幸手駅周辺の開発(西口土地区画整理)」が20.9%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	災害に強いまちづくり	341	45.4%	36.3%
3	地域医療体制の充実	273	36.4%	30.7%
4	高齢者福祉・介護予防事業の充実	251	33.4%	27.3%
2	子育て支援体制の充実※	190	25.3%	24.8%
5	幸手駅周辺の開発(西口土地区画整理)	157	20.9%	28.7%
9	中心市街地の活性化	156	20.8%	21.9%
13	財政の健全化	155	20.6%	26.0%
12	行政運営の効率化	81	10.8%	11.7%
16	誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けたSDGsの取組	75	10.0%	—
8	地産地消の推進	69	9.2%	9.4%
15	循環型社会の形成(ごみの減量化など)	53	7.1%	7.8%
6	シティプロモーションの推進※	49	6.5%	3.1%
10	市民と行政の協働体制の整備	49	6.5%	4.6%
7	特色ある学校教育の充実	46	6.1%	7.1%
14	カーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現に向けた取組	36	4.8%	—
11	NPO・コミュニティ等によるまちづくり活動の支援	20	2.7%	2.5%
17	その他	22	2.9%	2.1%
	無回答・無効	14	1.9%	5.4%
	合計	2,037		

N= 751

※2前回: 地域子育て支援体制の充実
 ※6前回: シティセールスの推進

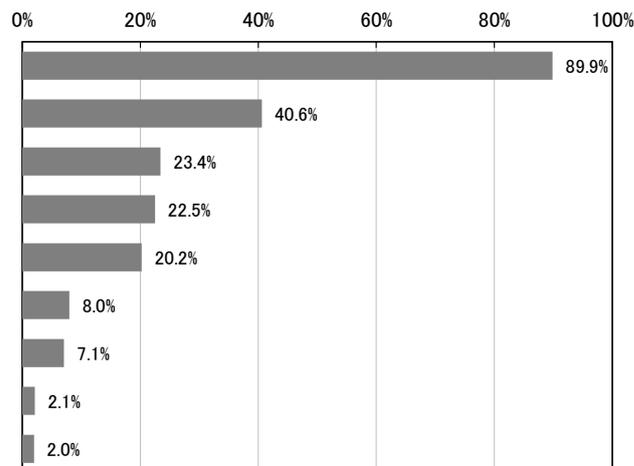


6 市政情報の発信や収集について

問19 あなたは市政に関する情報をどのようなものから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)[複数回答]

・市政に関する情報をどのようなものから得ているかについては、「広報さって」が89.9%と最も多く、次いで「回覧板」が40.6%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	広報さって	675	89.9%	86.6%
6	回覧板	305	40.6%	42.6%
2	市ホームページ	176	23.4%	15.5%
3	議会だより	169	22.5%	23.4%
4	新聞、チラシ・ポスター※	152	20.2%	22.0%
5	自治会などの集まり	60	8.0%	8.7%
7	SNS (FacebookやTwitterなど)	53	7.1%	—
8	その他※	16	2.1%	7.0%
	無回答・無効	15	2.0%	5.0%
	合計	1,621		



N = 751

※4前回:「新聞」「チラシ・ポスター」の合計

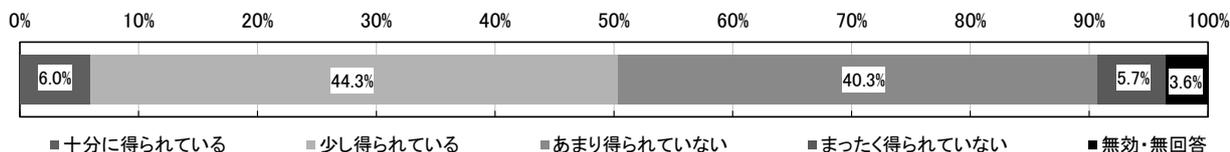
※8前回:「くらしのガイドブック」「その他」の合計

問20 あなたは市政に関する情報を十分得られていると思いますか。[単一回答]

・市政に関する情報を十分得られていると思うかについては、「少し得られている」が44.3%と最も多く、次いで「あまり得られていない」が40.3%となっています。

		票数	今回%	前回%
1	十分に得られている	45	6.0%	5.0%
2	少し得られている	333	44.3%	41.6%
3	あまり得られていない	303	40.3%	40.2%
4	まったく得られていない	43	5.7%	9.0%
	無効・無回答	27	3.6%	4.2%
	合計	751	100.0%	100.0%

N = 751



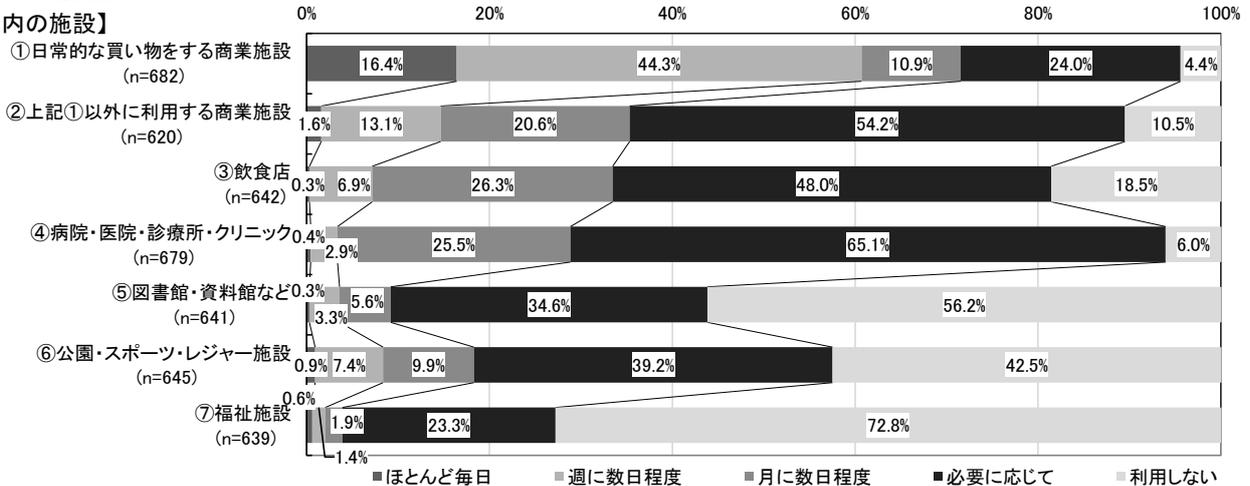
問21 普段の生活において、下記の市内・市外の①～⑦の施設の「利用頻度」(問21-1)と「主な交通手段」(問21-2)についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。また、その施設へ行くための公共交通機関(市内循環バスなど)があれば利用しますか。「利用希望」(問21-3)についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。【単一回答】

・市内の施設の利用頻度については、『必要に応じて』が最も多くなっている項目は「④病院・医院・診療所・クリニック」65.1%、「②上記①以外に利用する商業施設」54.2%、「③飲食店」48.0%です。『利用しない』が最も多くなっている項目は「⑦福祉施設」72.8%、「⑤図書館・資料館など」56.2%、「⑥公園・スポーツ・レジャー施設」42.5%です。『週に数日程度』が最も多くなっている項目は「①日常的な買い物をする商業施設」44.3%です。

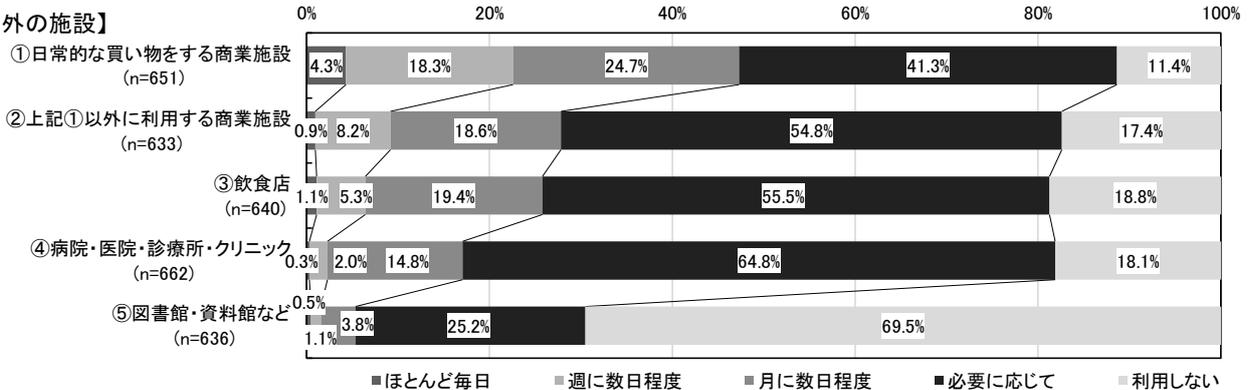
・市外の施設の利用頻度については、『必要に応じて』が最も多くなっている項目は「④病院・医院・診療所・クリニック」64.8%、「③飲食店」55.5%、「②上記①以外に利用する商業施設」54.8%、「①日常的な買い物をする商業施設」41.3%です。『利用しない』が最も多くなっている項目は「⑦福祉施設」80.8%、「⑤図書館・資料館など」69.5%、「⑥公園・スポーツ・レジャー施設」48.3%です。

問21-1 利用頻度

【市内の施設】



【市外の施設】



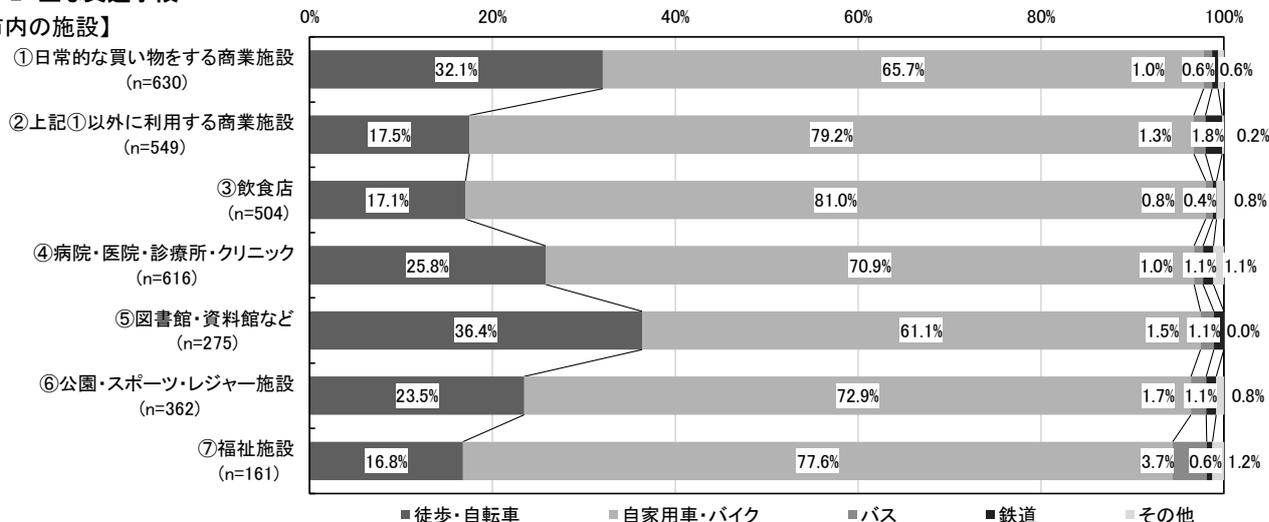
※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。

・市内の施設への主な交通手段については、全ての項目で『自家用車・バイク』が最も多くなっており、特に「③飲食店」(81.0%)、「②上記①以外に利用する商業施設」の項目で多くなっています。次いで全ての項目で『徒歩・自転車』が多くなっており、特に「⑤図書館・資料館など」(36.4%)、「①日常的な買い物をする商業施設」(32.1%)の項目で多くなっています。

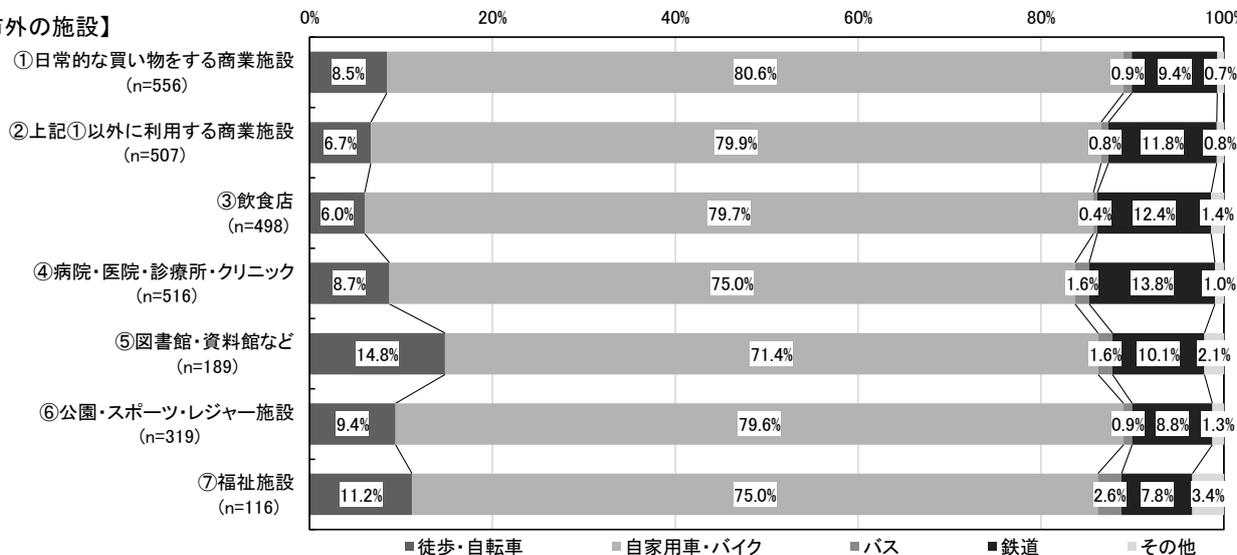
・市外の施設への主な交通手段については、全ての項目で『自家用車・バイク』が最も多くなっており、特に「①日常的な買い物をする商業施設」(80.6%)、「②上記①以外に利用する商業施設」(79.9%)の項目で多くなっています。次いで全ての項目で『徒歩・自転車』が多くなっており、特に「⑤図書館・資料館など施設」(14.8%)、「⑦福祉施設」(11.2%)の項目で多くなっています。

問21-2 主な交通手段

【市内の施設】



【市外の施設】

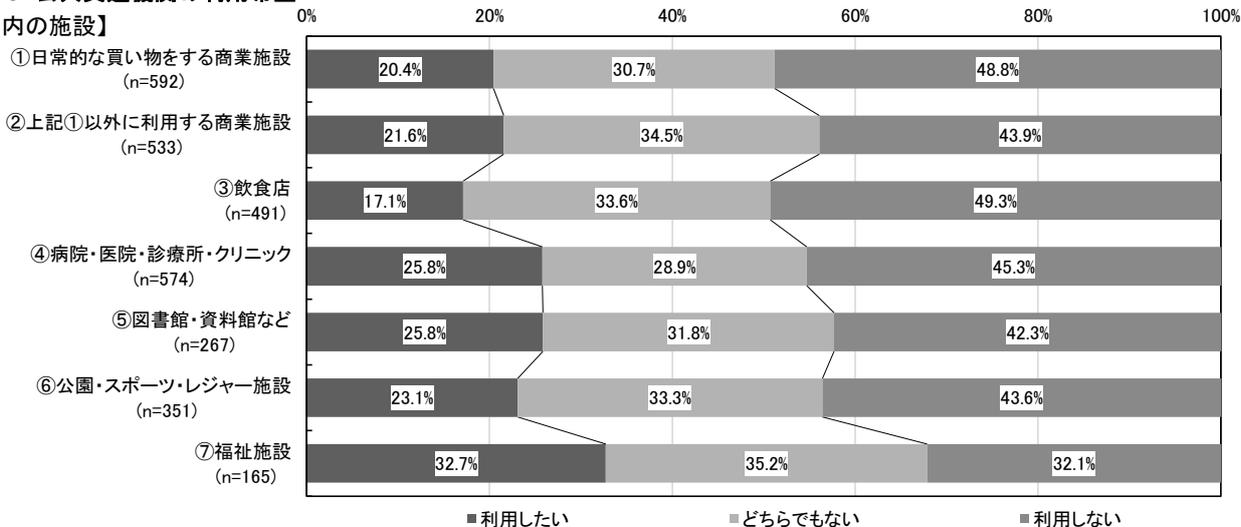


※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。

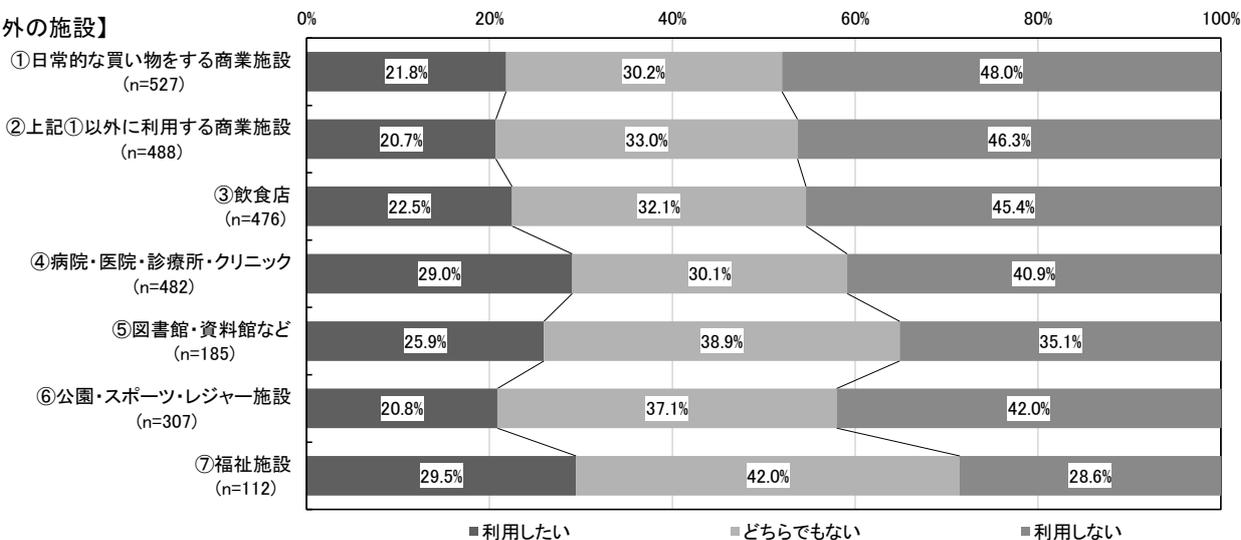
・市内に公共交通機関があった場合の施設利用希望については、『利用したい』は「⑦福祉施設」が32.7%と最も多く、次いで「④病院・医院・診療所・クリニック」、「⑤図書館・資料館など」が25.8%となっています。
 ・市外の施設利用時の公共交通機関の利用希望については、『利用したい』は「⑦福祉施設」が29.5%と最も多く、次いで「④病院・医院・診療所・クリニック」が29.0%、「⑤図書館・資料館など」が25.9%となっています。

問21-3 公共交通機関の利用希望

【市内の施設】



【市外の施設】



※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。

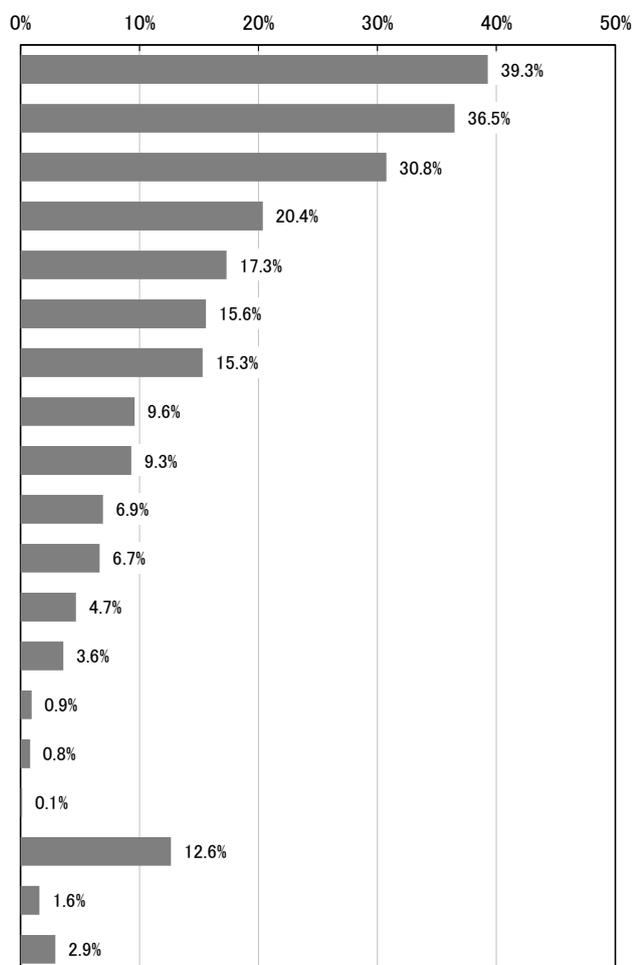
7 幸手市の施策について

問22 幸手市が他の自治体と比較して優れていると思うことは何ですか。[複数回答:3つまで]

・幸手市が他の自治体と比較して優れていると思うことについては、「自然災害が少ない」が39.3%と最も多く、次いで「権現堂公園等の観光地がある」が36.5%、「圏央道のインターチェンジがある」が30.8%、「買い物の便がよい」が20.4%、「自然環境が豊富である」が17.3%となっています。

		票数	今回%
2	自然災害が少ない	295	39.3%
14	権現堂公園等の観光地がある	274	36.5%
15	圏央道のインターチェンジがある	231	30.8%
6	買い物の便がよい	153	20.4%
10	自然環境が豊富である	130	17.3%
1	都心から比較的近くアクセスがよい	117	15.6%
3	犯罪が少ない	115	15.3%
9	生活環境がよい	72	9.6%
12	人口密度が低い	70	9.3%
16	未開発地が多く、これから発展する可能性がある	52	6.9%
11	歴史のあるまちである	50	6.7%
5	農業が盛んである	35	4.7%
4	地域の結びつきが強い	27	3.6%
7	子育て環境が充実している	7	0.9%
8	福祉が充実している	6	0.8%
13	教育環境が充実している	1	0.1%
17	特にない	95	12.6%
18	その他	12	1.6%
	無回答・無効	22	2.9%
	合計	1,764	

N= 751

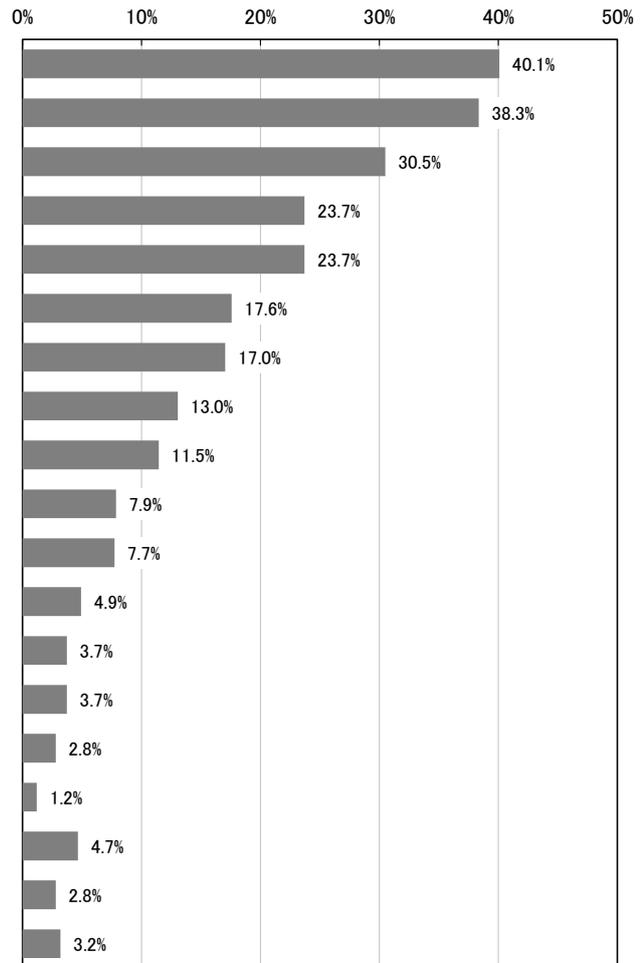


問23 幸手市が他の自治体と比較して劣っていると思うことは何ですか。[複数回答:3つまで]

・幸手市が他の自治体と比較して劣っていると思うことについては、「人口が減少傾向である」が40.1%と最も多く、次いで「市の財政状況が厳しい」が38.3%、「高齢化が進んでいる」が30.5%、「交通の便が悪い」、「集客力のある施設、観光地が少ない」が23.7%となっています。

		票数	今回%
2	人口が減少傾向である	301	40.1%
1	市の財政状況が厳しい	288	38.3%
11	高齢化が進んでいる	229	30.5%
3	交通の便が悪い	178	23.7%
14	集客力のある施設、観光地が少ない	178	23.7%
4	下水等排水対策が遅れている	132	17.6%
12	道路整備が遅れている	128	17.0%
10	少子化が進んでいる	98	13.0%
7	商業施設が少ない	86	11.5%
6	農業の後継者不足が深刻である	59	7.9%
16	行政サービスが十分でない	58	7.7%
8	子育て環境が充実していない	37	4.9%
5	地域の結びつきが弱い	28	3.7%
9	福祉が遅れている	28	3.7%
13	教育環境が充実していない	21	2.8%
15	市民協働の取組が進んでいない	9	1.2%
17	特になし	35	4.7%
18	その他	21	2.8%
	無回答・無効	24	3.2%
	合計	1,938	

N= 751

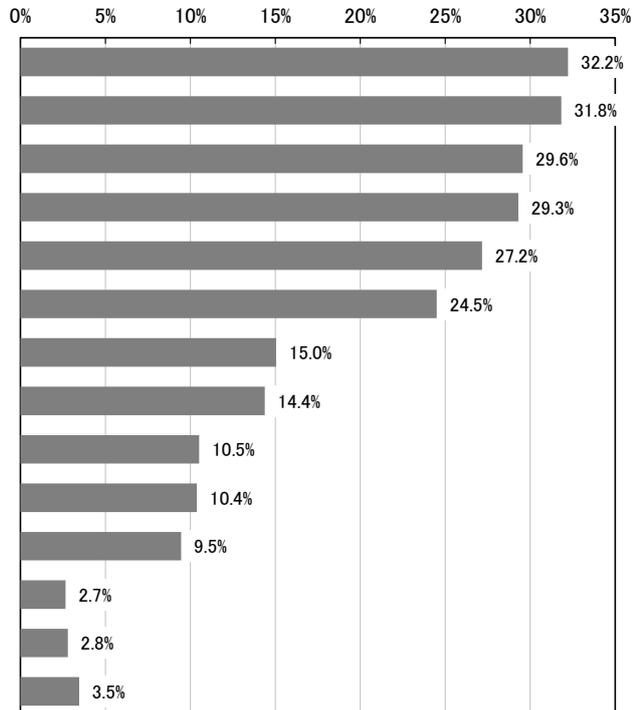


問24 今後どのような土地利用に力を入れていけばよいと思いますか。[複数回答:3つまで]

・今後どのような土地利用に力を入れていけばよいと思うことについては、「身近に働きに行けるような企業や工場を誘致する」が32.2%と最も多く、次いで「駅周辺の市街地整備を充実させる」が31.8%、「日常の買い物ができる店舗を充実させる」が29.6%、「河川や水辺環境の整備を充実させる」が29.3%、「良好な住環境(静かさ、緑の景観など)を充実させる」が27.2%となっています。

		票数	今回%
4	身近に働きに行けるような企業や工場を誘致する	242	32.2%
2	駅周辺の市街地整備を充実させる	239	31.8%
7	日常の買い物ができる店舗を充実させる	222	29.6%
12	河川や水辺環境の整備を充実させる	220	29.3%
3	良好な住環境(静かさ、緑の景観など)を充実させる	204	27.2%
6	大型の商業施設を誘致する	184	24.5%
5	環境に配慮した工場を誘致する	113	15.0%
9	農業の後継者が不足しているので、農地以外に活用する	108	14.4%
10	農業振興のために農地を保全・活用する	79	10.5%
8	商業や工業等の発展のために農地を活用する	78	10.4%
11	環境・防災上の観点から農地を保全する	71	9.5%
1	住宅を不燃化する区域を指定する	20	2.7%
13	その他	21	2.8%
	無回答・無効	26	3.5%
	合計	1,827	

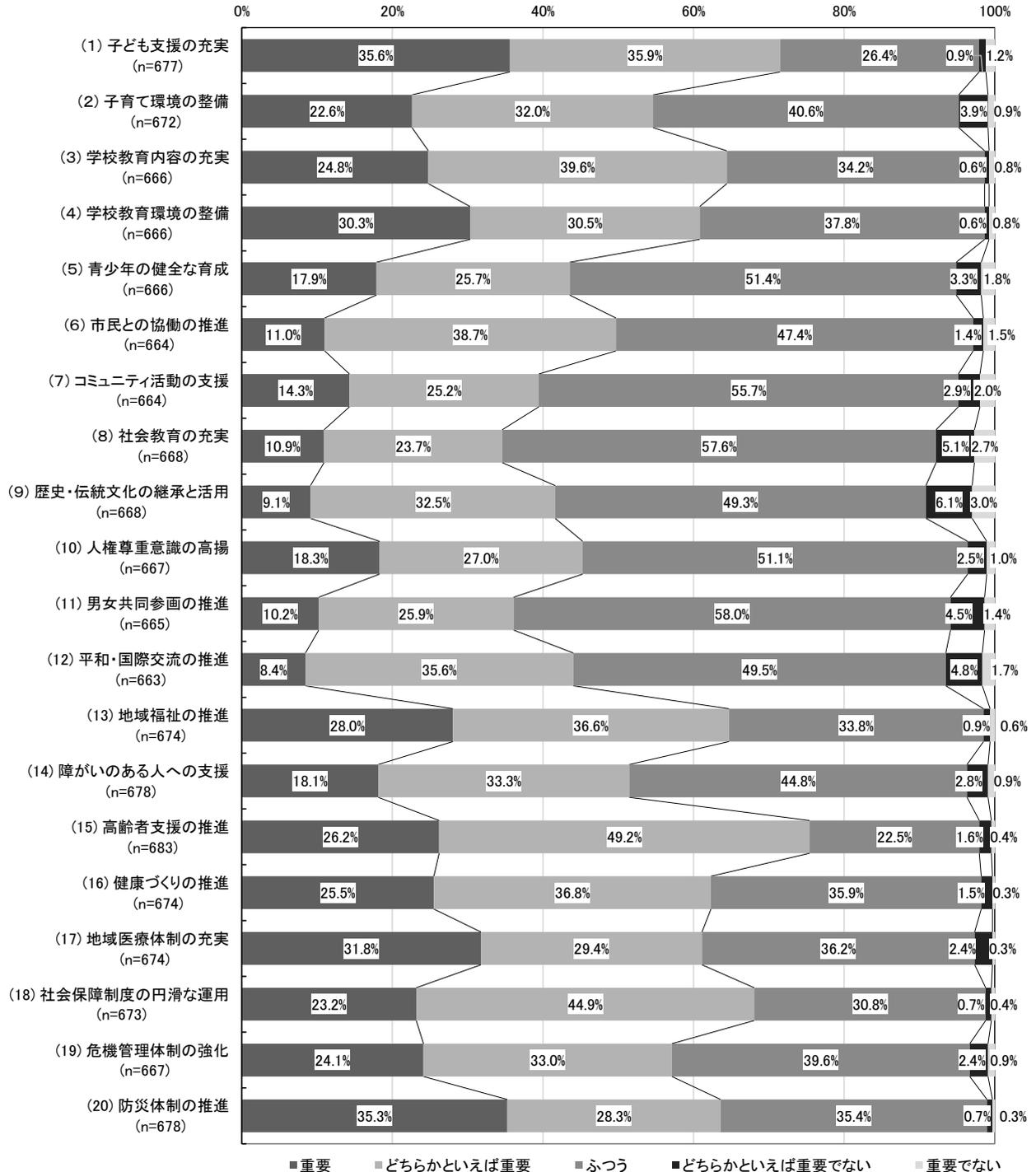
N= 751



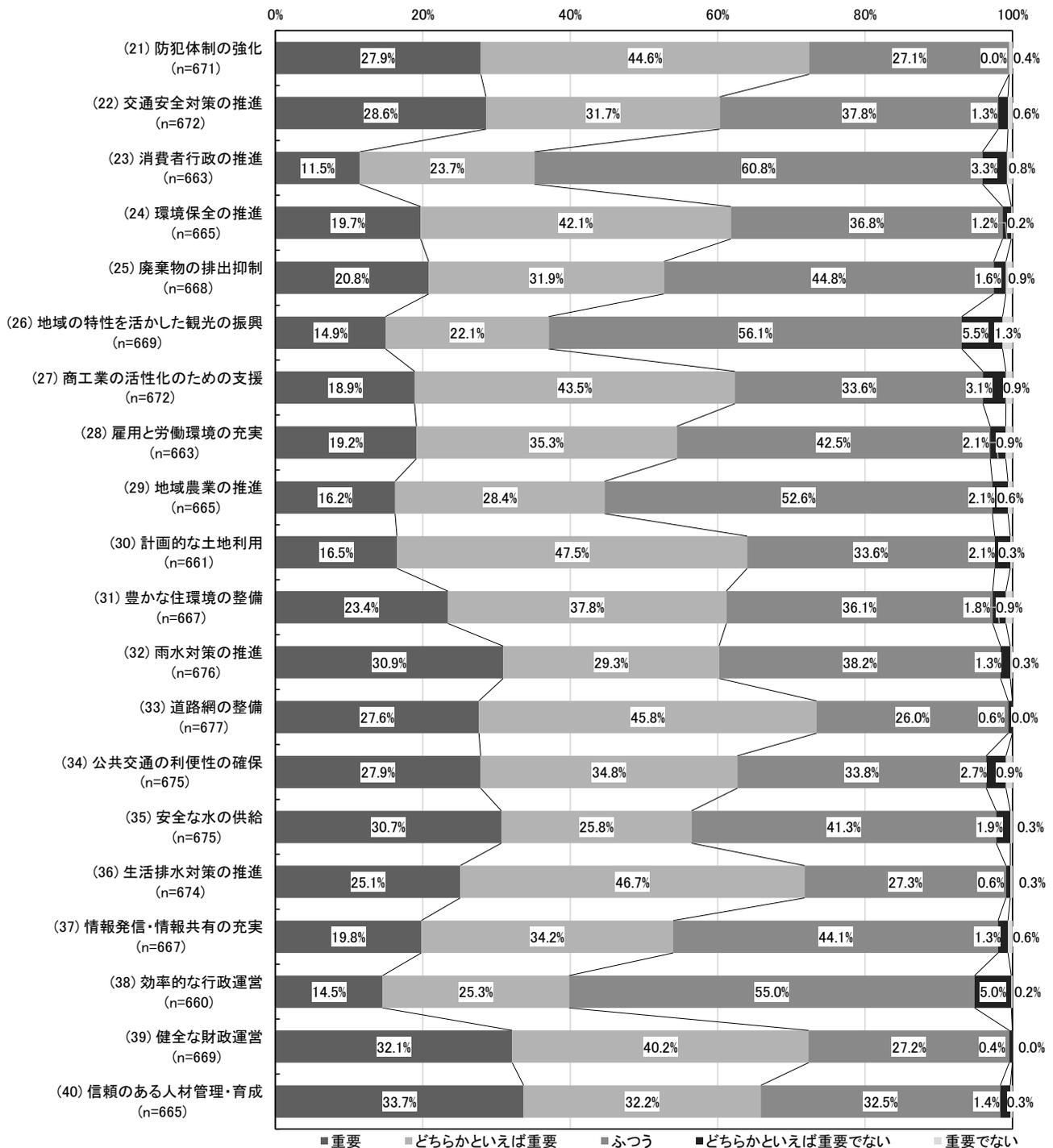
問25 行政施策の「重要度」(問25-1)および「満足度」(問25-2)について、おたずねします。((1)~(40)の項目についてそれぞれ1つに○)
 また、「進捗度」(問25-3)については、おおむね過去5年間で事業や取組の進捗度について、進んでいると感じている場合は「○」、どちらでもない場合は「△」、進んでいないと感じている場合は「×」のいずれかを記入してください。[単一回答]

・行政施策の「重要度」については、「重要」「どちらかといえば重要」が多い項目は「(15) 高齢者支援の推進」75.4%、次いで「(33) 道路網の整備」73.4%、「(21) 防犯体制の強化」72.4%、「(39) 健全な財政運営」72.3%、「(36) 生活排水対策の推進」71.8%となっています。

【重要度】



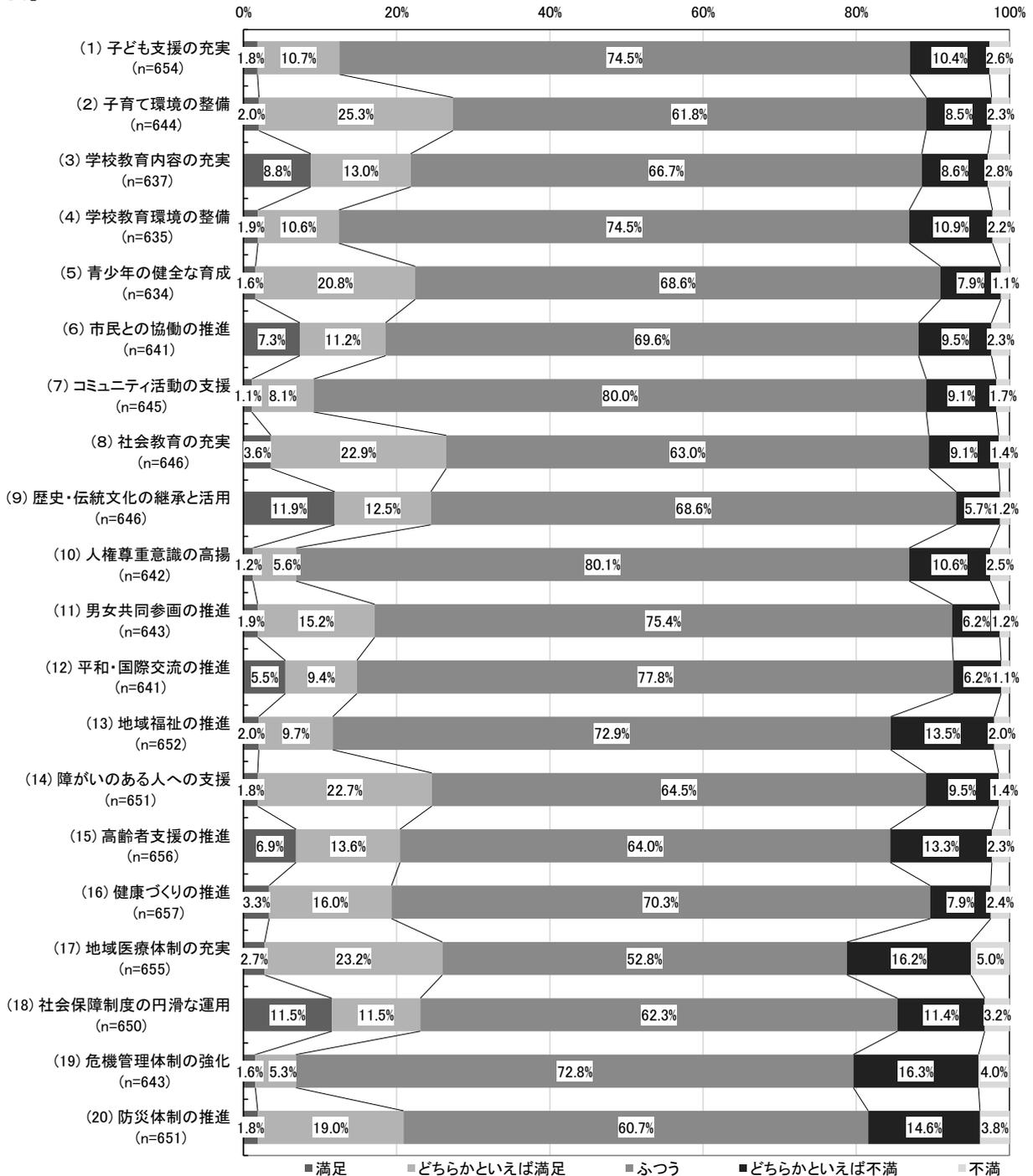
※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。



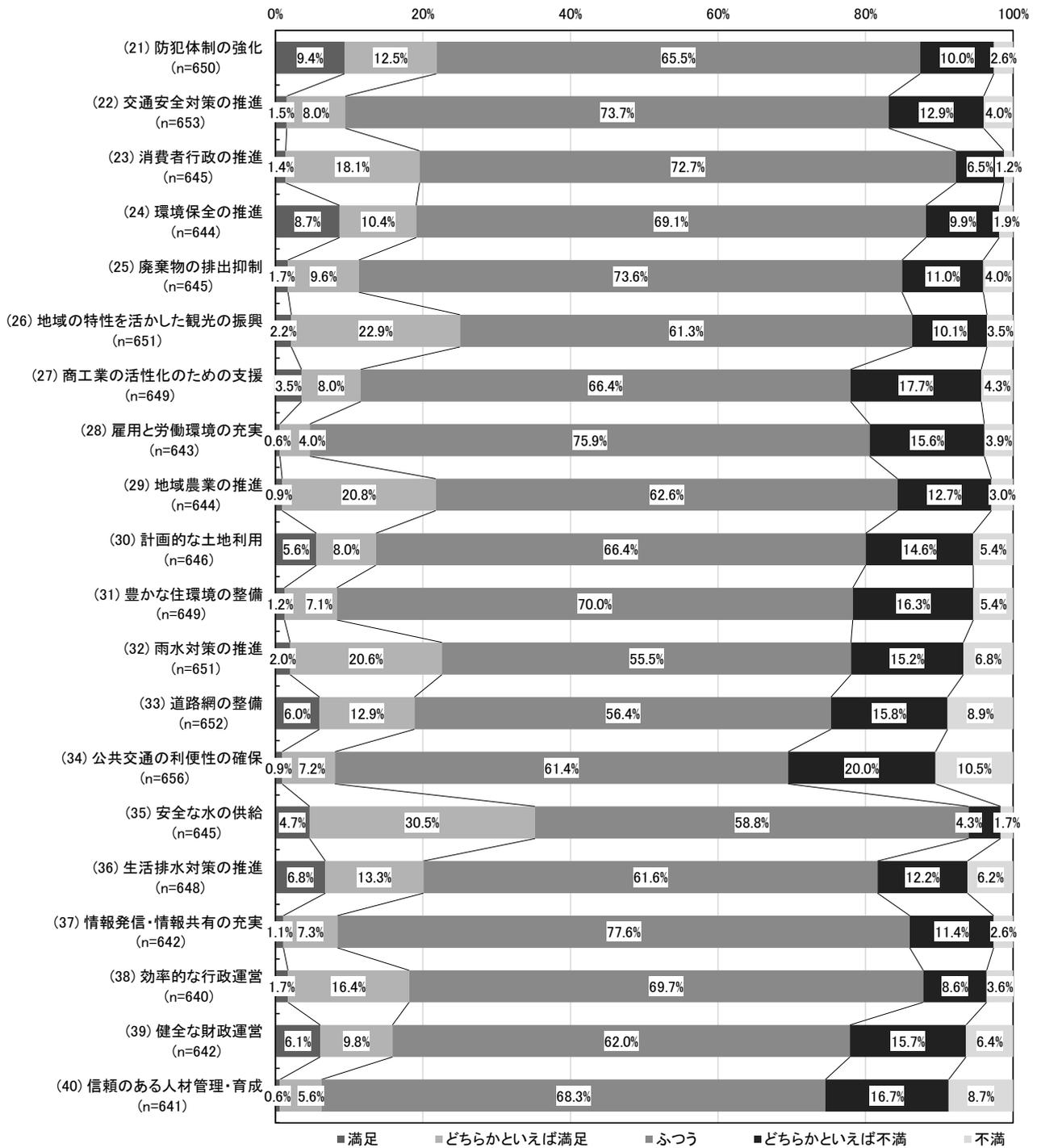
※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。

・行政施策の「満足度」については、「満足」「どちらかといえば満足」が多い項目は「(35) 安全な水の供給」が35.2%、次いで「(2) 子育て環境の整備」が27.3%、「(8) 社会教育の充実」が26.5%、「(17) 地域医療体制の充実」が26.0%、「(25) 廃棄物の排出抑制」が25.0%となっています。
 ・「不満」「どちらかといえば不満」が多い項目は「(34) 公共交通の利便性の確保」が30.5%、次いで「(40) 信頼のある人材管理・育成」が25.4%、「(33) 道路網の整備」が24.7%、「(39) 健全な財政運営」が22.1%、「(27) 商工業の活性化のための支援」、「(32) 雨水対策の推進」が22.0%となっています。

【満足度】



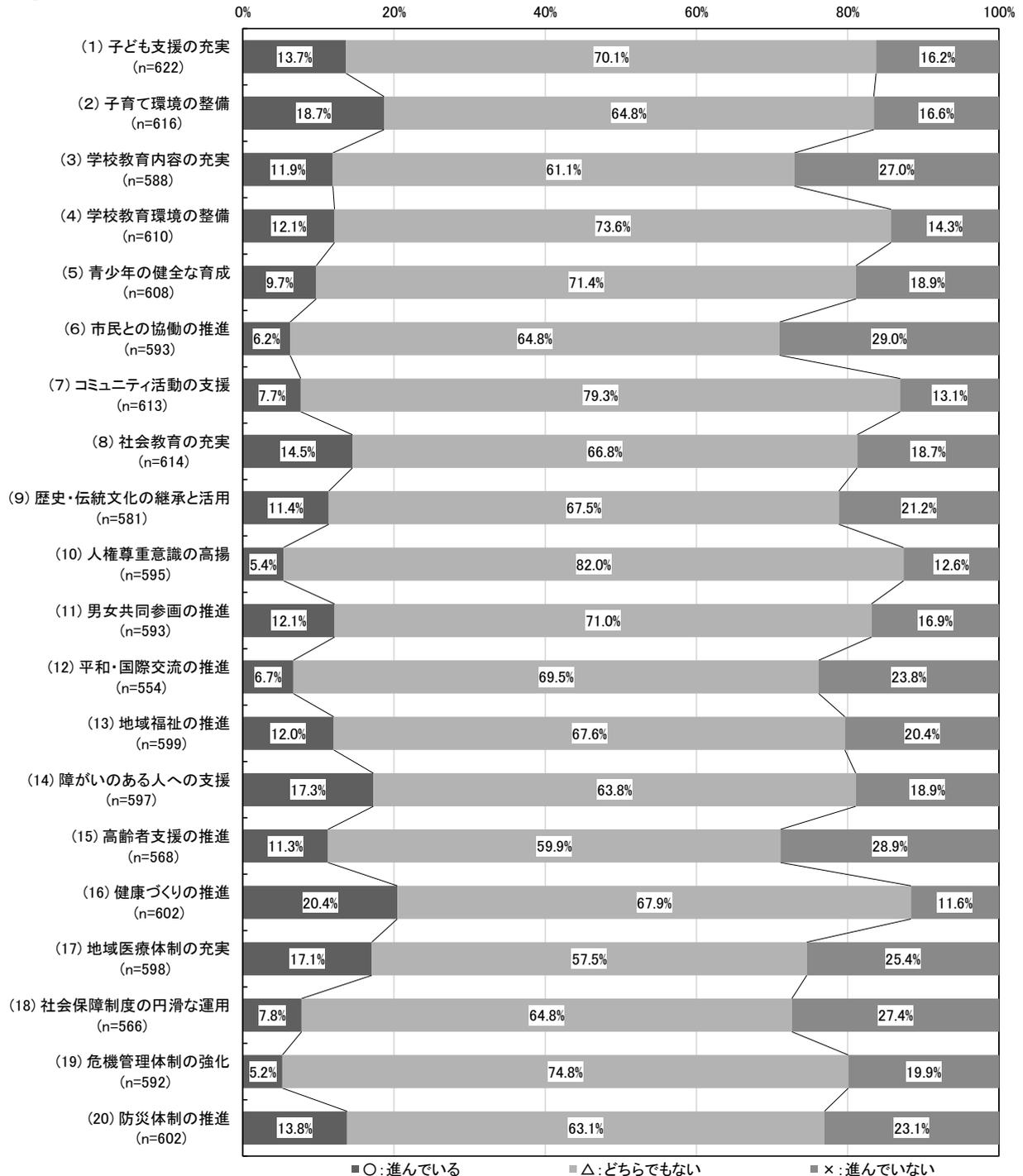
※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。



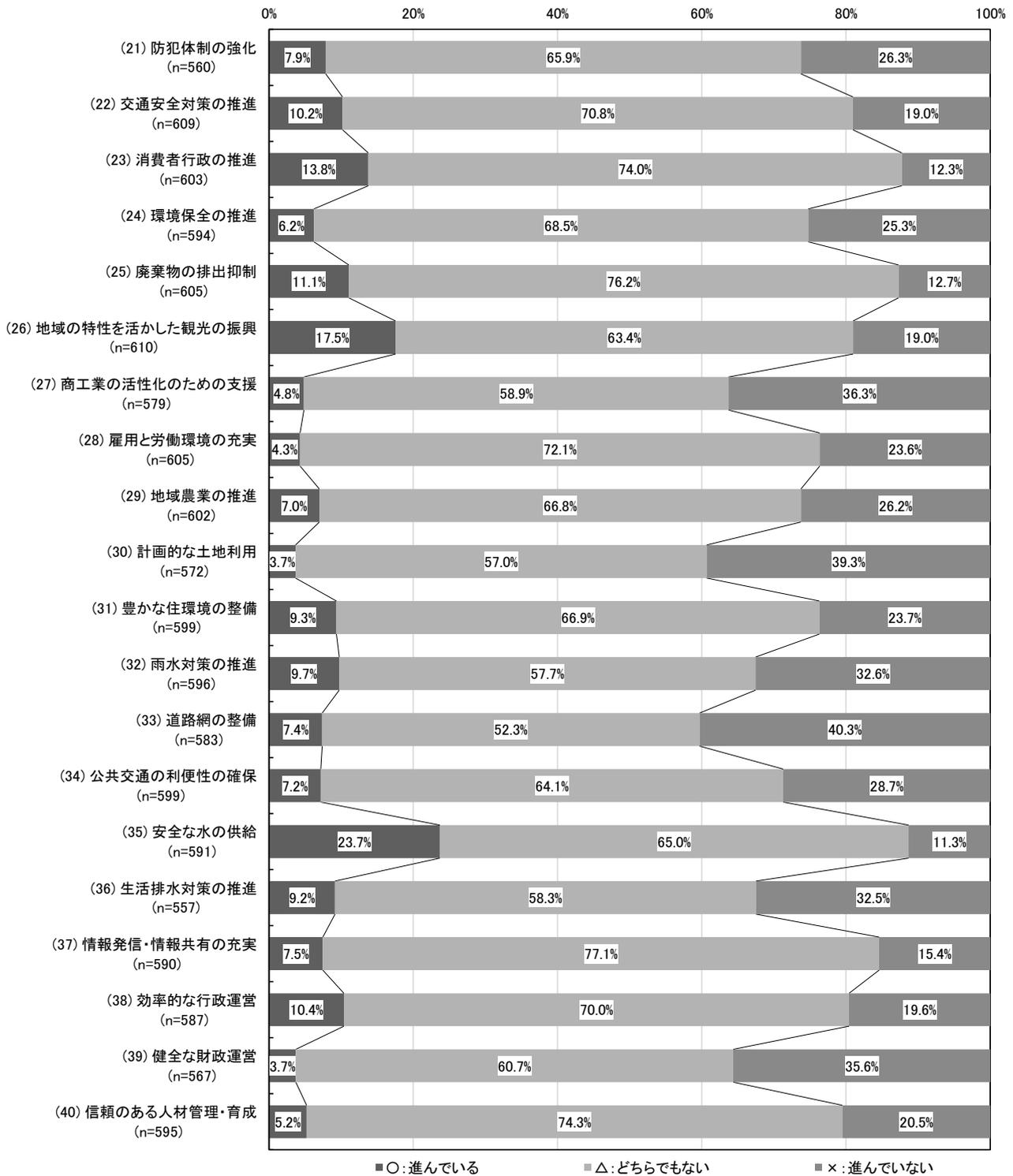
※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。

・行政施策の「進捗度」については、「進んでいない」が多い項目は「(33) 道路網の整備」が40.3%、次いで「(30) 計画的な土地利用」39.3%、「(27) 商工業の活性化のための支援」が36.3%、「(39) 健全な財政運営」が35.6%、「(32) 雨水対策の推進」が32.6%となっています。
 ・「進んでいる」が多い項目は「(35) 安全な水の供給」が23.7%、次いで「(16) 健康づくりの推進」20.4%、「(2) 子育て環境の整備」が18.7%、「(26) 地域の特性を活かした観光の振興」が17.5%、「(14) 障がいのある人への支援」が17.3%となっています。

【進捗度】



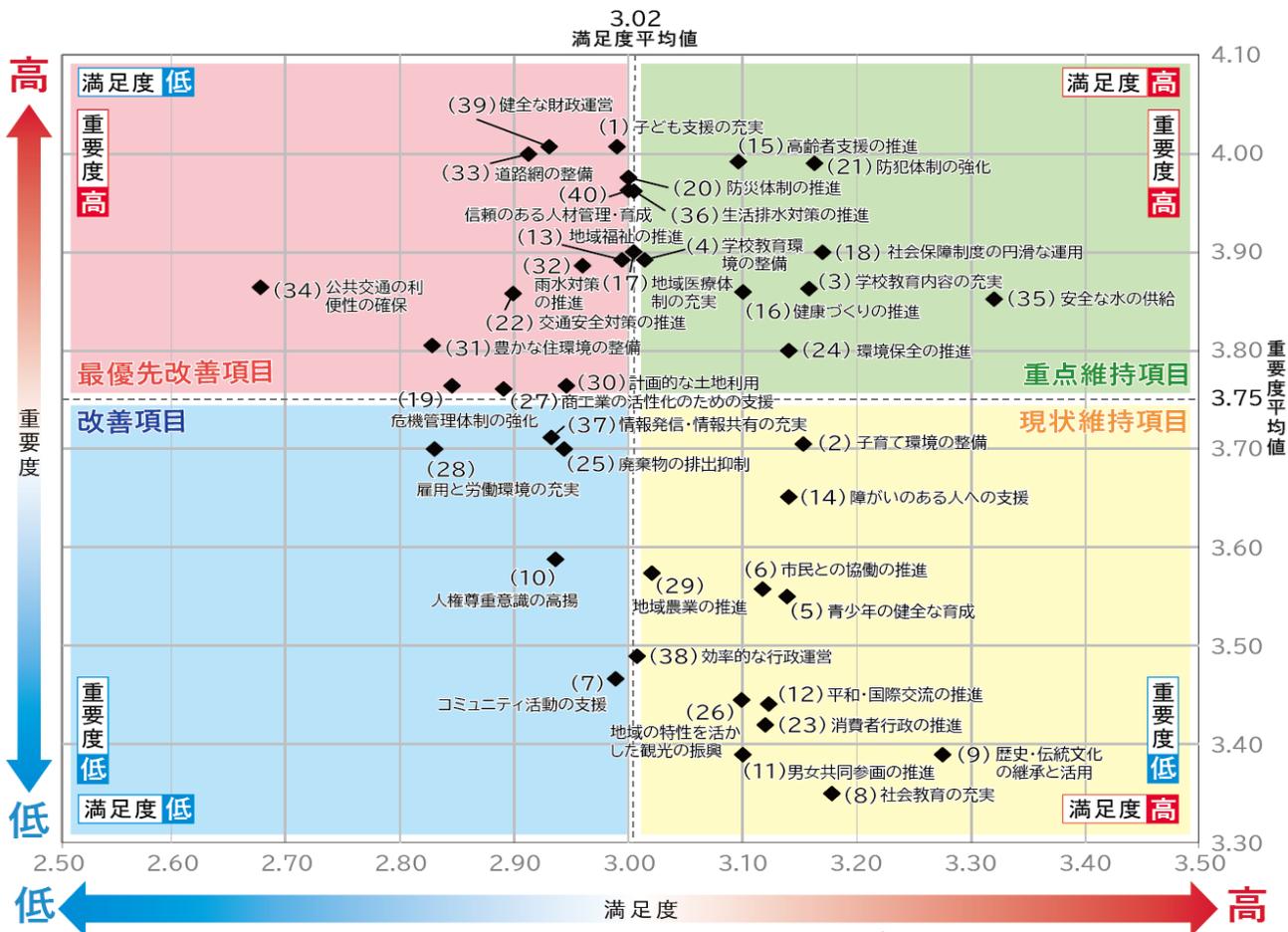
※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。



※上記グラフでは、「無効・無回答」を除いています。

■満足度・重要性の散布図

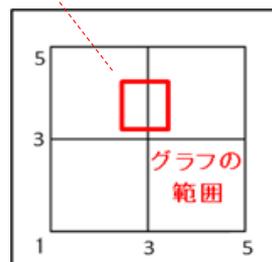
・行政施策の満足度および重要性の評価については、全項目の平均値が、満足度は3.02、重要性は3.75となっており、満足度と重要性ともに3.00を上回っています。
 ・項目別に満足度をみると、「(35) 安全な水の供給」(満足度3.32)、「(9) 歴史・伝統文化の継承と活用」(満足度3.28)が高く、「(40) 信頼のある人材管理・育成」(満足度2.73)、「(28) 雇用と労働環境の充実」、「(31) 豊かな住環境の整備」(満足度2.82)が低くなっています。
 ・項目別に重要性をみると、「(1) 子ども支援の充実」、「(39) 健全な財政運営」(重要性4.04)が高く、「(8) 社会教育の充実」(重要性3.35)、「(9) 歴史・伝統文化の継承と活用」、「(11) 男女共同参画の推進」(重要性3.39)が低くなっています。
 ・重要性が高いにもかかわらず満足度が低い項目(=特に改善が必要な項目)は、「(34) 公共交通の利便性の確保」、「(31) 豊かな住環境の整備」、「(19) 危機管理体制の強化」となっています。



※満足度・重要性の散布図について

幸手市の「満足度」及び「重要性」について5段階の回答結果を以下の計算方法により散布図にしました。

「満足=5ポイント」、「やや満足=4ポイント」、「ふつう=3ポイント」、「やや不満=2ポイント」、「不満=1ポイント」
 「重要である=5ポイント」、「どちらかといえば重要である=4ポイント」、「どちらでもない=3ポイント」、「あまり重要ではない=2ポイント」、「重要ではない=1ポイント」に変換して散布図を作成 ※各項目の変換後ポイント数は次頁参照。

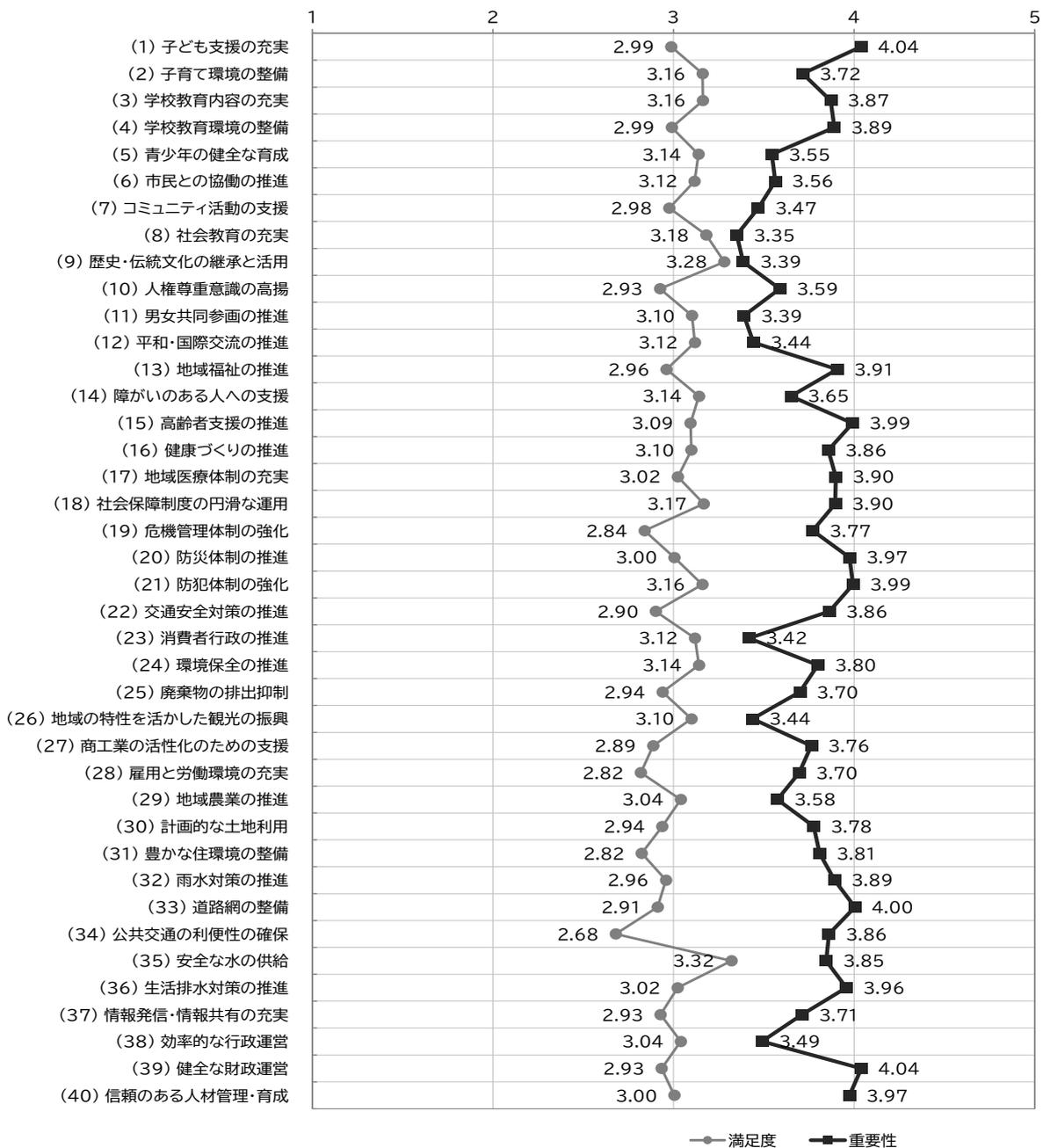


<満足度・重要性の変換後のポイント数>

アンケート項目	満足度	重要性
(1) 子ども支援の充実	2.99	4.04
(2) 子育て環境の整備	3.16	3.72
(3) 学校教育内容の充実	3.16	3.87
(4) 学校教育環境の整備	2.99	3.89
(5) 青少年の健全な育成	3.14	3.55
(6) 市民との協働の推進	3.12	3.56
(7) コミュニティ活動の支援	2.98	3.47
(8) 社会教育の充実	3.18	3.35
(9) 歴史・伝統文化の継承と活用	3.28	3.39
(10) 人権尊重意識の高揚	2.93	3.59
(11) 男女共同参画の推進	3.10	3.39
(12) 平和・国際交流の推進	3.12	3.44
(13) 地域福祉の推進	2.96	3.91
(14) 障がいのある人への支援	3.14	3.65
(15) 高齢者支援の推進	3.09	3.99
(16) 健康づくりの推進	3.10	3.86
(17) 地域医療体制の充実	3.02	3.90
(18) 社会保障制度の円滑な運用	3.17	3.90
(19) 危機管理体制の強化	2.84	3.77
(20) 防災体制の推進	3.00	3.97
(21) 防犯体制の強化	3.16	3.99
(22) 交通安全対策の推進	2.90	3.86
(23) 消費者行政の推進	3.12	3.42
(24) 環境保全の推進	3.14	3.80
(25) 廃棄物の排出抑制	2.94	3.70
(26) 地域の特性を活かした観光の振興	3.10	3.44
(27) 商工業の活性化のための支援	2.89	3.76
(28) 雇用と労働環境の充実	2.82	3.70
(29) 地域農業の推進	3.04	3.58
(30) 計画的な土地利用	2.94	3.78
(31) 豊かな住環境の整備	2.82	3.81
(32) 雨水対策の推進	2.96	3.89
(33) 道路網の整備	2.91	4.00
(34) 公共交通の利便性の確保	2.68	3.86
(35) 安全な水の供給	3.32	3.85
(36) 生活排水対策の推進	3.02	3.96
(37) 情報発信・情報共有の充実	2.93	3.71
(38) 効率的な行政運営	3.04	3.49
(39) 健全な財政運営	2.93	4.04
(40) 信頼のある人材管理・育成	2.73	3.98
平均値	3.02	3.75

■ 最高値

■ 最低値



8 自由記述欄

現総合振興計画の政策別に分類した主な意見を紹介します。

自由意見 幸手市の施策について 主な意見	政策
若い世代が子育てしやすいように、育児支援に力を入れてほしい。	1. 子育て・教育
小学校の統廃合、及び通学手段の確保。	
小学生対象に短期での預り保育施設の設営。	
学校に行けない子ども達が増えている今、気軽にそのような子達が集える居場所を作ってほしいです。	
生徒数の少ない小中学校を統合してスクールバスを利用してバスの空時間は市内の交通に役立て年間の学校の歳費を他の教育に使う。	
図書館の蔵書を充実させて欲しい。	2. 協働・文化・人権
市営のプールが欲しい。	
困っている人が困らない幸手市を作って行って下さい。	3. 福祉・健康
コロナ禍のせいで、職を失い生活もままならない状況です。是非、給付金を出して下さい。	
水害時の緊急一時避難先に丈夫な建物ということで駅自由通路や保健所、マンションの共有部分など避難出来るとありがたい。	4. 防災・生活・環境
防災避難所の見直しをお願いします。主に地震等の避難を考えているかと思いますが、水害時、避難前が冠水して避難できないのでは？と思っております。	
災害時の備蓄について女性目線での備蓄が必要。	
街中を歩いて気が付いたことですが廃屋が多く火災とか犯罪が心配です。	
幸手市は都心に近く恵まれた土地です。都会的な雰囲気も十分に有しながらもう一歩幸手市の素晴らしさ（生活の豊かさ）が、近隣にさほど伝わっていない感じがします。	5. 観光・産業
商店街が賑わう様な対策をお願い致します。	
せっかく権現堂公園を始めとする「桜」がありながら活かしきれないのでは？	
土地がたくさん余っているように見えるので、大型商業施設を作っていただきたいです。	
食糧不足に備えるよう農業推進に力を入れてほしい。	
これからの観光地は新たに何かを建てるとか、作るのではなく、今ある環境を活かすことが創ることだと考えます。	6. 都市基盤
切に市内交通の利便性の向上を希望します。	
権現堂へのアクセス方法の向上を進めていただき市の税収を増加させる事が重要と考えます。	
買い物等は車が使えれば便利ですが高齢になり車が使えなくなると不便になると思われます。	
次世代の担い手がない昨今、農地がどうなるのか危惧しています。	
乳母車・車椅子などなど幼児・高齢者が安心して歩行が出来る歩道がほしいです。	
道路が冠水しやすいので道路の水はけを良くして欲しい。	7. 行財政
人口の減少を食い止める為に、企業、教育・研究機関誘致等が必要と考える。	
施策に選定した背景、施策の明確なゴール、進捗度など「市の施策」の見える化をし、市民の声を吸い上げやすいような環境作り。	
今までと同じ事を繰り返すのではなく新しい視点から行政を見直し新しい感覚で仕事をしてほしい。	
田園風景が広がり、日用品の調達にも事欠かず、とても暮らしやすいまちだ。他地域にない独自性をもつことが大事。	

幸手市 総合振興計画 市民意識調査



～アンケート調査ご協力のお願い～

日頃から市政に対しご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

このたび、市の最上位計画である第6次幸手市総合振興計画前期基本計画が令和5年度までとなっていることから、令和6年度から令和10年度までを計画期間とする後期基本計画を策定します。

総合振興計画後期基本計画は、今後5年間の市政運営の方針を定める重要な計画です。

この調査は、後期基本計画の策定にあたり、前期基本計画の進捗状況や、市民の皆様が今後の市政運営について重要とお考えになっていることは何かを把握するための大切な調査となります。

調査にあたっては、18歳以上の市民の皆様の中から2,000人を無作為に抽出し、調査票を送らせていただきました。

ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、個人が特定されることはありません。

本アンケート調査は全25問あり、お時間を要する内容となっておりますが、市政の発展のために率直なご意見をお聞かせください。

ご多用のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年6月 幸手市長 木村 純夫

～ご記入にあたってのお願い～

1. 封筒の宛名の方ご本人がお答えください（ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の意思を確認しながらご記入ください）。
2. 本アンケート調査は、紙の調査票（本票）による回答またはインターネットによる回答が可能です。6月30日（木）までにご回答をお願いします。

【インターネット（スマートフォン等）でご回答いただく場合】

3. 右のQRコードまたは下記URLからアクセスしてください。

紙の調査票の提出は不要です。

URL：https://questant.jp/q/satte_sogo



QRコード

【紙の調査票（本票）でご回答いただく場合】

4. お答えは、あてはまる回答番号に○をつけてください。「その他」にあてはまる場合は（ ）の中に具体的な内容の記載をお願いいたします。
5. ご記入が済みしたら、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご返送ください。

※ 返信用封筒に印刷されているバーコードは、郵便局での仕分け業務に必要なものであり、住所や氏名等を特定するものではありません。

※ ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 幸手市役所 総合政策部 政策課 政策担当
電話：0480-43-1111(代表)(内線4401、242)

1. あなたのことについておたずねします

問1 あなたの性別は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

- | | |
|-------|----------|
| 1. 男性 | 3. その他 |
| 2. 女性 | 4. 回答しない |

問2 あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。
(令和4年6月1日現在の年齢をお答えください。)(1つに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 10 歳代 | 5. 50 歳代 |
| 2. 20 歳代 | 6. 60 歳代 |
| 3. 30 歳代 | 7. 70 歳代 |
| 4. 40 歳代 | 8. 80 歳以上 |

問3 あなたの就業形態は、次のどれに該当しますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 農業 | 6. 専業主婦(夫) |
| 2. 自営業 | 7. 無職 |
| 3. 会社員 | 8. 学生 |
| 4. 公務員 | 9. その他() |
| 5. パートタイマー・アルバイト | |

問4 幸手市内に通算して何年お住まいですか。(1つに○)
(幸手市外に住んでいた期間は除いて計算してください。)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 2年未満 | 4. 11年～21年未満 |
| 2. 2年～6年未満 | 5. 21年～31年未満 |
| 3. 6年～11年未満 | 6. 31年以上 |

問5 お住まいの地区は、次のどれに該当しますか。(地区名の1つに○)

地区名	丁名・字名
1. 幸手地区	中1～4丁目、北1～3丁目、大字内国府間、 大字幸手(幸手小学校通学区域内)
2. 権現堂川地区	大字権現堂、大字上吉羽(権現堂川小学校通学区域内)、 大字神明内、大字木立
3. 上高野地区	南1～3丁目、上高野1丁目、大字上高野
4. 吉田地区	大字惣新田、大字下宇和田、大字上宇和田、大字下吉羽、 大字西関宿、大字花島、大字中島、大字細野、大字槇野地
5. 八代地区	戸島1～2丁目、吉野1丁目、天神島1丁目、 平須賀1～2丁目、大字戸島、大字吉野、大字天神島、 大字平須賀、大字神扇、大字平野、大字中野、大字長間
6. 行幸地区	大字千塚(行幸小学校通学区域内)、 大字円藤内(旧県道加須幸手線の北側)、大字松石、 大字高須賀、大字外国府間
7. 栄地区	栄、大字幸手(さかえ小学校通学区域内)
8. 長倉地区	中5丁目、西1～2丁目、大字幸手(長倉小学校通学区域内)、 大字中川崎、大字下川崎、大字千塚(長倉小学校通学区域内)、 大字円藤内(旧県道加須幸手線の南側)
9. 幸手東地区・緑台地区	東1～5丁目、緑台1～2丁目、 大字幸手(さくら小学校通学区域内)、 大字上吉羽(さくら小学校通学区域内)
10. 香日向地区	香日向1～4丁目

3. 市民との協働によるまちづくりについておたずねします

問 11 協働により取り組むことが「重要だと思う取組」(問 11-1)と「今後参加したい取組」(問 11-2)は何ですか。次の中からあてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。(3つまで○)

市民との協働による取組	問 11-1 重要だと思 う取組 (3つまで○)	問 11-2 今後参加 したい取組 (3つまで○)
1. 地域コミュニティ (自治会活動の推進、地域行事の開催、助け合い等)	1	1
2. 文化、芸術、スポーツ (活動団体の支援、催し物の開催等)	2	2
3. 環境保全 (自然環境の保全、河川の浄化、リサイクル等)	3	3
4. 地域福祉 (高齢者や障がい者の見守り、支援等)	4	4
5. 災害対策 (防災体制の整備、被災者への支援等)	5	5
6. 地域安全 (交通安全活動、防犯活動等)	6	6
7. 青少年健全育成 (健全育成活動の推進等)	7	7
8. その他 ()	8	8

問 12 あなたは世界共通目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」についてどの程度知っていますか。(1つに○)

1. 既に自分ができることに取り組んでいる
2. 内容は知っている
3. SDGs という言葉を聞いたことがある
4. ロゴやアイコンを見たことがある
5. 知らない

～SDGs (Sustainable Development Goals) とは～

世界が抱えている環境問題や差別、貧困といった問題を解決し、「誰一人取り残すことのない持続可能な社会の実現」のために掲げられた17の国際目標のことです。

(出典：外務省ホームページ JAPAN SDGs Action Platform より要約)



問 13 SDGsの 17 の目標についてあなたの関心はどれくらいありますか。

それぞれの目標の関心度について 1～5 のうちあてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

SDGsの 17 の目標	(低い) ← 関心度 → (高い)
(記入例) 住み続けられるまちづくりを	(低い) 1 2 3 ④ 5 (高い)
1. 貧困をなくそう	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
2. 飢餓をゼロに	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
3. すべての人に健康と福祉を	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
4. 質の高い教育をみんなに	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
5. ジェンダー平等を実現しよう	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
6. 安全な水とトイレを世界中に	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
8. 働きがいも経済成長も	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
10. 人や国の不平等をなくそう	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
11. 住み続けられるまちづくりを	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
12. つくる責任つかう責任 (資源を大切に生じた生産・消費)	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
13. 気候変動に具体的な対策を	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
14. 海の豊かさを守ろう	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
15. 陸の豊かさも守ろう	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
16. 平和と公正をすべての人に	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)
17. パートナーシップで目標を達成しよう (国際協力の推進)	(低い) 1 2 3 4 5 (高い)

4. 暮らしの安全・安心についておたずねします

問 14 大地震や水害などの災害に備えて、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(2つまで○)

1. 家屋の延焼防止策
2. 河川等の災害発生危険箇所の整備
3. 避難所の整備と周知
4. 食料や支援物資の調達
5. 仮設住宅、仮設トイレの確保
6. 電気、ガス、水道などのライフラインの確保
7. 市民への防災意識と助け合い意識の啓発
8. 地域での助け合いの体制の強化
9. 避難訓練・防災訓練の徹底
10. 災害時の高齢者、障がいのある人などへの避難支援
11. 情報伝達手段の拡充
12. 迅速で正確な情報提供
13. その他 ()

問 15 新型コロナウイルス感染症流行前(おおむね 2020 年2月以前)と比べたとき、あなたは現在の幸手市が「住みよいまち」だと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. より住んでよかった | 4. 少し住みにくい |
| 2. 住みよさは変わらない | 5. 住みにくくなり市外に引っ越したい |
| 3. 住みにくさは変わらない | |

問 16 ウィズ(with)コロナ社会の新しいライフスタイルにおいて、あなた自身が幸手市で暮らす上で、これまで以上に重視したい点は何ですか。(3つまで○)

1. ライフワーク・やりたい仕事を充実させたい
2. 趣味・生きがいを充実させたい
3. 住環境を充実させたい
4. 豊かな自然環境を満喫したい
5. 地域の人とのコミュニケーションを深めたい
6. 地域のためになることにチャレンジしたい
7. その他 ()

5. 行財政運営についておたずねします

問17 行財政運営の改善に向けて必要だと思うものは何ですか。(2つまで○)

1. 事業の取捨選択を進め、事業の重点化を図る
2. 既存の施設の統廃合を進める
3. 職員の質の向上を図る
4. 民間事業者の活用を進める
5. インターネット等を活用して、どこでも各種の申請ができるようにする
6. 行政への市民参画を推進する
7. その他 ()

問18 今後、重点的に取り組むべきと思う施策は何ですか。(3つまで○)

1. 災害に強いまちづくり
2. 子育て支援体制の充実
3. 地域医療体制の充実
4. 高齢者福祉・介護予防事業の充実
5. 幸手駅周辺の開発（西口土地区画整理）
6. シティプロモーションの推進
7. 特色ある学校教育の充実
8. 地産地消の推進
9. 中心市街地の活性化
10. 市民と行政の協働体制の整備
11. NPO・コミュニティ等によるまちづくり活動の支援
12. 行政運営の効率化
13. 財政の健全化
14. カーボンニュートラル※（脱炭素社会）の実現に向けた取組
15. 循環型社会の形成（ごみの減量化など）
16. 誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けたSDGsの取組
17. その他 ()

※カーボンニュートラルとは、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする取組です。地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」の目標を掲げて取り組んでいます。（出典：環境省ホームページ 脱炭素ポータルより要約）

6. 市政情報の発信や収集についておたずねします

問 19 あなたは市政に関する情報をどのようなものから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 広報さって	5. 自治会などの集まり
2. 市ホームページ	6. 回覧板
3. 議会だより	7. SNS (Facebook や Twitter など)
4. 新聞、チラシ・ポスター	8. その他 ()

問 20 あなたは市政に関する情報を十分得られていると思いますか。(1つに○)

1. 十分に得られている	3. あまり得られていない
2. 少し得られている	4. まったく得られていない

問 21 普段の生活において、下記の市内・市外の①～⑦の施設の「利用頻度」(問 21-1)と「主な交通手段」(問 21-2)についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

また、その施設へ行くための公共交通機関(市内循環バスなど)があれば利用しますか。

「利用希望」(問 21-3)についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

施設の種類	問 21-1 利用頻度 ※「5」を選んだ方は「問21-2」 「問21-3」の回答は不要です					問 21-2 主な交通手段					問 21-3 公共交通機関の 利用希望			
	1 ほとんど毎日	2 週に数日程度	3 月に数日程度	4 必要に応じて	5 利用しない※	1 徒歩・自転車	2 自家用車・バイク	3 バス	4 鉄道	5 その他	1 利用したい	2 どちらでもない	3 利用しない	
(記入例)	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5	①	2	3	
市内の施設	①日常的な買い物をする商業施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	②上記①以外に利用する商業施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	③飲食店	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	④病院・医院・診療所・クリニック	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	⑤図書館・資料館など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	⑥公園・スポーツ・レジャー施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	⑦福祉施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
市外の施設	①日常的な買い物をする商業施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	②上記①以外に利用する商業施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	③飲食店	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	④病院・医院・診療所・クリニック	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	⑤図書館・資料館など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	⑥公園・スポーツ・レジャー施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3
	⑦福祉施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3

7. 幸手市の施策についておたずねします

問22 幸手市が他の自治体と比較して優れていると思うことは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 都心から比較的近くアクセスがよい | 10. 自然環境が豊富である |
| 2. 自然災害が少ない | 11. 歴史のあるまちである |
| 3. 犯罪が少ない | 12. 人口密度が低い |
| 4. 地域の結びつきが強い | 13. 教育環境が充実している |
| 5. 農業が盛んである | 14. 権現堂公園等の観光地がある |
| 6. 買い物の便がよい | 15. 圏央道のインターチェンジがある |
| 7. 子育て環境が充実している | 16. 未開発地が多く、これから発展する可能性がある |
| 8. 福祉が充実している | 17. 特にない |
| 9. 生活環境がよい | 18. その他 () |

問23 幸手市が他の自治体と比較して劣っていると思うことは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 市の財政状況が厳しい | 10. 少子化が進んでいる |
| 2. 人口が減少傾向である | 11. 高齢化が進んでいる |
| 3. 交通の便が悪い | 12. 道路整備が遅れている |
| 4. 下水等排水対策が遅れている | 13. 教育環境が充実していない |
| 5. 地域の結びつきが弱い | 14. 集客力のある施設、観光地が少ない |
| 6. 農業の後継者不足が深刻である | 15. 市民協働の取組が進んでいない |
| 7. 商業施設が少ない | 16. 行政サービスが十分でない |
| 8. 子育て環境が充実していない | 17. 特にない |
| 9. 福祉が遅れている | 18. その他 () |

問24 今後どのような土地利用に力を入れていけばよいと思いますか。(3つまで○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 住宅を不燃化する区域を指定する |
| 2. 駅周辺の市街地整備を充実させる |
| 3. 良好な住環境（静かさ、緑の景観など）を充実させる |
| 4. 身近に働きに行けるような企業や工場を誘致する |
| 5. 環境に配慮した工場を誘致する |
| 6. 大型の商業施設を誘致する |
| 7. 日常の買い物ができる店舗を充実させる |
| 8. 商業や工業等の発展のために農地を活用する |
| 9. 農業の後継者が不足しているので、農地以外に活用する |
| 10. 農業振興のために農地を保全・活用する |
| 11. 環境・防災上の観点から農地を保全する |
| 12. 河川や水辺環境の整備を充実させる |
| 13. その他 () |

問25 行政施策の「重要度」(問25-1)および「満足度」(問25-2)について、おたずねします。

((1)～(40)の項目についてそれぞれ1つに○)

また、「進捗度」(問25-3)については、おおむね過去5年間で事業や取組の進捗度について、進んでいると感じている場合は「○」、どちらでもない場合は「△」、進んでいないと感じている場合は「×」のいずれかを記入してください。

評価(重要度・満足度・進捗度) 行政施策の項目	問25-1 重要度					問25-2 満足度					問25-3 進捗度
	重要	どちらかといえば重要	ふつう	どちらかといえば重要でない	重要でない	満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満	○ △ × 進んでいる どちらでもない 進んでいない
(記入例)住みよいまちづくり	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5	○
(1) 子ども支援の充実 切れ目のない支援体制の充実、幼児期の教育 および保育サービスの充実、子どもを守る体制 の充実、子育て家庭への経済的支援の推進、 母子保健事業の充実など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(2) 子育て環境の整備 保育施設整備の推進、放課後児童クラブの充 実、地域の子育て環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(3) 学校教育内容の充実 基礎・基本の充実、時代の変化に応じた教育 の充実、指導体制の充実、教育相談の充実、 特別支援教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(4) 学校教育環境の整備 総合的な教育行政の推進、学校施設の整備・ 改修、安全で安心な学校給食の運営、就学・ 進学への支援、地域との交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(5) 青少年の健全な育成 青少年活動の充実、家庭教育の推進、非行防 止活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(6) 市民との協働の推進 協働体制の整備、まちづくり活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(7) コミュニティ活動の支援 コミュニティ活動の推進、コミュニティ意識 の醸成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(8) 社会教育の充実 生涯学習の総合的推進、健康の増進と生涯スポ ーツ・レクリエーションの振興、社会教育施設や体育 施設の整備・充実、文化芸術活動の振興など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(9) 歴史・伝統文化の継承と活用 文化財の保護と活用、文化財の調査と研究、 郷土資料館の活用と充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

評価(重要度・満足度・進捗度) 行政施策の項目	問25-1 重要度					問25-2 満足度					問25-3 進捗度
	重要	どちらかといえば重要	ふつう	どちらかといえば重要でない	重要でない	満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満	○:進んでいる △:どちらでもない ×:進んでいない
(10) 人権尊重意識の高揚 啓発活動の推進、人権相談活動の充実、人権・同和教育の充実、市民活動の支援、生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(11) 男女共同参画の推進 推進活動の充実と市民活動の支援、男女共同参画社会形成への意識づくり、男女が共に社会参加できる環境づくり、ハラスメント・DV対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(12) 平和・国際交流の推進 平和事業の推進、国際交流の充実、国際理解の推進、多文化共生の地域づくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(13) 地域福祉の推進 地域福祉活動の推進、福祉・医療・保健の連携の推進、地域の見守り支援体制づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(14) 障がいのある人への支援 総合的な施策の推進、地域における支え合い活動の推進、地域生活の支援、社会参加・活動への支援、安心できる保健・医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(15) 高齢者支援の推進 生活支援の充実、在宅医療・介護連携の推進、介護予防の推進、高齢者の権利擁護、介護する家族への支援、介護保険事業の円滑な運営など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(16) 健康づくりの推進 特定健康診査・特定保健指導の充実、がんなど疾病予防事業の充実、健康保険事業の充実、自殺対策の推進、感染症予防対策の推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(17) 地域医療体制の充実 地域医療体制の充実、救急医療・小児救急医療体制の維持、保健・医療関係機関との連携体制の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(18) 社会保障制度の円滑な運用 生活困窮者や生活保護受給者の自立に向けた支援、国民健康保険制度の運営、後期高齢者医療制度の運営、国民年金制度の啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(19) 危機管理体制の強化 危機管理体制の確立、幸手市国民保護計画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

評価(重要度・満足度・進捗度) 行政施策の項目	問25-1 重要度					問25-2 満足度					問25-3 進捗度
	重要	どちらかといえば重要	ふつう	どちらかといえば重要でない	重要でない	満足	どちらかといえば満足	ふつう	どちらかといえば不満	不満	○:進んでいる △:どちらでもない ×:進んでいない
(20) 防災体制の推進 地域防災力の向上、災害時に関する啓発・情報提供、応急物資などの確保と応援体制の充実、防災体制の充実、都市防災機能の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(21) 防犯体制の強化 犯罪防止活動の充実、自主防犯団体の育成・支援、安心できる住環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(22) 交通安全対策の推進 交通安全意識の向上、安全で快適な交通環境の整備、交通安全施設の整備、交通規制の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(23) 消費者行政の推進 消費生活相談の充実、情報提供の推進、消費者活動の支援、品質表示などの適正化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(24) 環境保全の推進 総合的環境行政の推進、環境学習活動の推進、自然環境の保全、温暖化対策事業の推進、公害対策の推進、地盤沈下対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(25) 廃棄物の排出抑制 広域的な取り組みの強化、廃棄物処理体制の整備、4R運動の促進、産業廃棄物監視指導の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(26) 地域の特性を活かした観光の振興 観光施設・ルートの整備、観光資源の活用、観光事業の充実・連携、観光協会への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(27) 商工業の活性化のための支援 商店街の魅力ある環境整備、中心市街地活性化事業の支援、商業団体の活動の支援、企業立地の促進・地元雇用の拡大	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(28) 雇用と労働環境の充実 雇用情報の提供、就業環境の充実、福利厚生	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(29) 地域農業の推進 農業経営の強化と担い手の育成・支援、農業生産基盤の整備と優良農地の保全、地元農産物の利用促進と高付加価値化への支援、農業に親しむ機会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

評価(重要度・満足度・進捗度) 行政施策の項目	問25-1 重要度					問25-2 満足度					問25-3 進捗度
	重要	ど ち ら か と い え ば 重 要	ふ つ つ	ど ち ら か と い え ば 重 要 で な い	重 要 で な い	満足	ど ち ら か と い え ば 満 足	ふ つ つ	ど ち ら か と い え ば 不 満	不 満	○ 進 ん で い る △ ど ち ら か も な い × 進 ん で い な い
(30) 計画的な土地利用 土地利用構想の実現化、都市計画マスタープランの推進、土地利用の規制・誘導、住民参加型のまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(31) 豊かな住環境の整備 田園景観の保全・創造、良好な住環境の整備と景観づくり活動の支援、公園整備の推進、幸手駅西口土地区画整理事業の推進など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(32) 雨水対策の推進 河川やポンプ場の整備・適切な維持管理、既存開発地に対する流域貯留施設などの維持管理、調節池や雨水幹線の整備の検討	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(33) 道路網の整備 都市計画道路の整備、生活道路の整備・維持管理、舗装の維持修繕の実施、橋りょうの維持修繕の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(34) 公共交通の利便性の確保 利便性の高い公共交通の推進、鉄道輸送力の増強、バス路線の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(35) 安全な水の供給 水の安定供給、水の有効利用の促進、経営の効率化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(36) 生活排水対策の推進 公共下水道の整備、公共下水道施設の維持管理の充実、合併処理浄化槽設置および維持管理の啓発など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(37) 情報発信・情報共有の充実 情報発信の強化、広報刊行物の充実、広聴活動の充実、情報公開制度の充実、定住促進施策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(38) 効率的な行政運営 行政改革の推進、公共施設アセットマネジメントの推進、情報化施策の推進、広域的な連携の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(39) 健全な財政運営 財源の確保、適正な受益者負担の確保、適正な財源配分、補助金の適正交付、土地開発公社の健全化、収納率向上対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(40) 信頼のある人材管理・育成 適正な人事管理、職員の能力開発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	

○ 最後に、市の施策について、ご意見・ご提案等がありましたらご自由にお書きください。

～～～以上で、本アンケートは終了です。～～～

ご協力ありがとうございました。この調査票は、同封の返信用封筒
(切手不要)に入れ、6月30日(木)までに、ご返送ください。



計画に関する情報の特設サイト

第6次幸手市総合振興計画 後期基本計画に関する様々な情報を市民の皆様と共有する場として特設サイトを立ち上げました。
ぜひ、アクセスしてください。



<https://satte-sogo.jp>

